京城日報

(年中無休刊)

本紙定價　一部參錢　壹箇月七十五錢　郵稅共前金▲參箇月前金貳圓廿錢
廣告料　五號十四字詰一行一圓五十錢　特別二號七字詰同二圓▲三號…▲四號九字詰同…▲六號十六字詰同一圓

發行兼編輯人　奥田直安
印刷人　小川三之介
京城太平通一丁目　發行所　合資會社京城日報社
電話番號長六千九番・二　振替京城三〇〇番

八月十六日夕刊　(朝刊併せて八頁)

匈國執政官陳述

匈牙利執政官ヨセフ大公は佛首相クレマンソー氏に對し左記の陳述を爲し併せて全權委員派遣の許可を求めたり(巴里電報)
(一)過激派を掃蕩する事(二)人口增殖を目的とする勞農者の保護(三)昨年十一月締結せる休戰條約を履行する事

議院閉會と豫算

安福倶樂部は十三日太平湖大會開會の際本月三十一日を以て議院閉會式を擧行し其の後猶臨時會議を開き八年度豫算案審査を行ふべく決定せり(北京電報)

中義公司株劵引受決定

伊太利の提議に係る中義航行公司組織案は交通部の反對ありしも農商部は該案に賛成し結局中央政府も之を可決するに至れるが最近農商交通兩部は商議の結果內部にて該公司株劵二萬株を引受くるに決し駐伊王公使に此の旨電告せり(北京電報)

唐代表辭任說

唐紹儀氏は又復南方代表を辭す可しとの說あり(北京電報)

王上海に向はん

王揖唐の北方議和代表は安福派及び徐總統も之に同意したれば王氏はその委任を受け不日上海に向ふべしと(北京電報)

支那公使決定

駐日支那公使は前駐露公使劉鏡人氏に決定せり(北京特電)
劉鏡人氏字は士照、江蘇省寶山縣の人、北京同文館出身にして曾て佛國に留學し李鴻章の知遇を得總理衙門主事より員外郎に昇任し哈爾賓道代理となる、次で駐露外交代表に任ぜられ六年十二月駐露全權公使に陞任し翌に聯合國大公使が露國都より撤退する際氏も亦共に引揚げ後支那政府を代表し浦鹽に駐剳し現に其地に在り

研究會優勢

上院の研究會は伯爵團の甲寅倶樂部及び細川頼侯其他は今回相率ゐて研究會に入りたるが同會は上院の一大勢力となれり(東京特電)

北島博士出張

北里研究所の北島博士は加藤內務省防疫官と共に虎疫豫防の爲め十六日午後四時東京驛發滿洲に出張すべし(東京特電)

對露政策不變　三州結局自治

オムスク政府運命　西伯利方面の反過激派支援は地理的關係より日本に一任せりとは英國官憲の聲明にして依然我國のオムスク政府に對する武力的援助を聲援せんとしつゝあるは佛國政府の意嚮なり而して米國のみは今尚當初の如く不即不離の態度を持續しつゝあるが我國は慎重なる態度の結果オムスク政府の威力日に日に衰へつゝあるに拘らず當り新なる武力援助を與ふることなく極東に於ける行動を依然舊の如く貝加爾湖以東に局限し消極策を保持して形勢の推移を觀望することに廟議一決せりと聞く爰に於て考慮せらるゝはオムスク政府軍が今後益々過激派軍の攻撃を受けコルチャック政府が逐次東方に壓せられたる場合に惹起せらるべきコルチャック政府對極東三州の關係なり

兩雄再確執　某消息通の談に據ればセミヨーノフ將軍とコルチャック提督との和解は決して兩氏の衷心より了解せる結果に非ずしてオムスク政府の威望比較的備はれる當時聯合國の圓滑なる調和を保持する必要より周圍の勸告斡旋に基けるものなれば若し今後コルチャック提督にして逐次歐露過激派の壓迫を受け漸次極東三州に鉾鋒を避くるの已むなき形勢とならばセミヨーノフ將軍が之を提督を喜んで迎ふるや否や頗る疑はしく從つて現在の如く武力一歩衰微し行くオムスク政府にして幸ひに現在の窮狀を脫し曩日の如く有力となれば格別然らざる限り自然の結果として兩雄の確執は再燃すべく從つてオムスク政府に對する極東三州は再び政治的に紛糾せる狀態となり其歸趨を逸せざるべきかと云ふ

山縣前總監伺候

山縣前政務總監は夫人同伴遷羅秘書官藤波通譯官を隨へ十五日午前十一時昌德宮に伺候李王殿下に面謁し近日歸東に就き御挨拶申上げたり因に李王家にては目下喪中に付送別宴の御催しは之無き由

辭令

今回左の通り辭令ありたり

總督府郡守　曹秉璃
全羅南道光州郡在勤を命ず
總督府郡守　白興基
全羅南道康津郡在勤を命ず
總督府郡守　李秉輝
全羅南道珍島郡在勤を命ず
京城高等普通學校教諭　渡邊周太郎
任師範學校長(六等)(以上八日附)

降雨見越安　仁川期米軟調

十六日朝雨模樣なるより旱魃を極度に買込たる仁川期米は盛大を見て軟派の賣活躍となり前場寄付三圓九十八錢と四圓の臺を割高値四圓零三錢安値八十錢止め八十四錢と下押せしが此の際一雨來らば中部以南水田の復活著しかるべく豫想され居れるにつき買ひ過ぎ咎めの一暴落あらんと期待さる

京畿道の旱害

京畿道に於ける作物旱害に就ては目下の如く調査中の處全部調査終へ左の如く發表したり

	作付見込反別	同上恢復の見込なきもの	同上反別歩合
水稻	一九一、七四三町	三、三二九町	六分
陸稻	二、二六八	四八	一割八分
粟	三七、三三三	二、九九九	一割一分
豆類	七六、七九三	九、九九〇	一割三分
蔬菜	六、三三九	六五三	一割一分
棉	三、三〇〇	一五四	六分

但し以上は八月五日現在調査に係るものに付き其後被害程度も增進したるものあるべし

殖銀株主總會

朝鮮殖産銀行にては十六日午前十時より長谷川町銀行集會所に於て第二期定時株主總會を開會し定刻に至るや三島頭取は中村櫻井兩理事渡邊秘書役等と出席總督府より野阪事務官臨席三島頭取は出席株主二千三百三十八人此の株數十萬六千四百零一株此の權利個數二萬四千百五十六個內委任狀二千三百十八人出席二十八人と宣し議事に入るに先立ち上半期財界の大勢と銀行營業の實績につき一場の演說をなし(別項參照)以下議事に移り第二期營業報告書財産目錄貸借對照表及び損益計算書承認の件並に利益金分配案決議の件を附議し本願次郎氏の發議にて何等の質問もなく滿場一致可決次いで頭取より近く公表すべき一千萬圓の債劵發行につき說明をなし午前十一時散會せり

利益金分配案は左の如し

一金貳百參拾壹萬貳千五百八拾壹圓六拾六錢　當期總益金
一金貳百拾九萬七千貳百圓貳拾六錢　當期總損金
差引
金拾壹萬五千參百八拾壹圓四拾錢　當期純益金
金四萬參千圓　政府補給金
金拾五萬八千參百八拾壹圓四拾錢
此分配左の如し
金九千五百圓　缺損補塡準備金
金貳千五百圓　配當平均準備金
金壹萬壹千圓　役員賞與金及交際費
金拾參萬五千參百八拾壹圓四拾錢　株主配當金(政府持株を除きたる殘餘株に對し年七分)

三島頭取演說(一)

營業の景況　昨年十一月歐洲に於ける休戰條約の成立は內外經濟界に對し多大の影響を與へたるは言を俟たざる所にして當時朝鮮に於ても戰後財界の激變を慮り各方面一時に警戒を嚴にするの傾ありしも幸にして此反動は一時的に止り當期に入りては漸次回復に向ひ中頃不幸なる騷擾事件の發生あり財界の打撃少からざるへしと豫想されたりしも是れ亦一時の杞憂に過ぎずして左したる影響を及ぼさずして常態に復したる一方には米穀棉花繭生絲の如き朝鮮の大宗生産品は價格頻りに騰貴し貿易は空前の額を示し農工交通其の他各方面に於ける事業の企劃各地に起れる等好資料相續いで現れたるを以て當期の財界は却て休戰前に優るの盛況を以て經過したり此時に方り當行は創業第貳期を迎へ行員の部署行務の按配僅に其緒に著きたるのみにして未だ十分なる業務の發展に致す能はざりしに拘らず財界の狀況に應じ政府の方針に策應して勸業金融の調節に努力したる結果幸にして業務各般に亘りて順調なる發達を遂げ概して豫期以上の好成績を擧げたり左に項を改めて之か狀況を略說せん

勸業金融狀況　朝鮮産業の開發は當局多年の方針にして之に對する指導獎勵殆んど至らざるなかりしか鮮民一般亦大に其の必要を自覺し進で之に關する計劃を企つる者多きを見るに至りし殊に農事改良計畫中最も大規模なるものは水田に對する水利灌漑の事業にして其本期間新に計畫せられたる者京畿道富平水利組合忠淸北道義林池水利組合江源道文幕水利組合の三組合を數へ其加入地面積は千九拾五町步に達せりと云ふ其他干潟地開拓荒蕪地開墾の如き土地改良事業は勿論耕地整理耕地買入農場擴張農具改良施肥の實施開墾の開始新作物の栽培等農業全般に亘り廣汎なる改良各地に行はれ工業に關する企畫は農業に比するときは未だ盛ならずと云ふを得ざるも本期間の設立に係る會社は朝鮮窯業株式會社を始め拾五社其資本金百貳拾萬圓に上れり又産業の開發と密接なる關係を有する交通事業特に輕便鐵道事業は漸く勃興の氣運を生じ既設の計畫せられたる者勘からず有望工業勃興の氣運は農産物價格の騰貴に伴ひ地方農民の資力充實に依て益其實現を速ならしめ特に各地に於て農工兩方面に亘り小規模の改良若くは副業の事業の振興を促したるは注目すべき點にして當行亦之等の事業を助勢して直接間接に資金の融通を圖りたるもの甚だ多し今之を當行の勸業貸出の實況に就て見るに昨年十二月末に於て八百拾壹萬圓なりしもの本期末に於て千五百八拾七萬餘圓を示せり即ち七百七拾五萬餘圓の激增にして殆んど倍加の成績を現せり右貸出中各地の金融組合聯合會に對する貳百參萬餘圓不二興業株式會社に對する債劵引受五拾萬圓忠州煙草耕作組合に對する參拾六萬圓の如きは大口の貸出にして其他貸出總口數五千貳百餘に達す今之か用途を見るに農業水利事業土地改良林業畜産水産工業電氣瓦斯交通運送土木鑛業等頗る多種に亘ると雖も最も多きを占むるものは農業に關するものとす而して右勸業貸出金の內民間個人に對する貸出は千參百萬餘圓にして其內鮮人に對するもの八百五拾壹萬餘圓即ち對個人貸出高の六割六分を占む更に右貸出金の地方分布の狀況を見るに京畿道の貳百七拾七萬圓最も多く全羅北道の貳百五拾壹萬圓慶尚南道の百七拾萬圓忠淸南道の百六拾萬圓等之に次く又少きは咸鏡北道にて拾六萬壹千圓に過ぎす之を南鮮の各道に比し甚しき懸隔ありと雖も土地の狀況固より止を得さる所なり然かも之か貸付に當り金融組合との聯絡に付ては當行の常に苦心する所にして既に相當の成案を立て着々實行中にあるを以て將來此機關を通して放出する勸業資金は巨額に達すへく共朝鮮産業上に及ほす效果は刮目すへきものありと信す

商業金融狀況　當期の朝鮮貿易は貨物及金銀を併せ輸移出壹億八拾參萬餘圓輸移入壹億貳千五百四拾參萬餘圓合計貳億貳千六百廿六萬餘圓にして前年同期に比し輸移出に於て參千九百七拾貳萬餘圓六割五分輸移入に於て五千七百四拾六萬餘圓八割四分合計九千七百拾九萬餘圓即七割五分の激增を示したり此貿易の盛況は一面に於て朝鮮內國商業の殷盛を語るものにして之を輸移出品市場に就て見んか米は輸出制限令の實施に依り外國向の取引不振を招きしも內地向の需要は市價硬調を持續しつたると休戰後海運賃の緩和せられたるとに連れ著しく出荷を促進し前年同期に比するときは數量に於て四拾四萬九千餘石價格に於て貳千八百八拾參萬餘圓の激增を示したる如き大豆は四月以降輸移出の撤廢と滿洲大豆の高値に原因して注文輻輳したるか如き其他魚類煙草生絲鑛等の輸移出額著しく增加したるか如き何れも其取引活躍の狀を思はしめさるはなし又之を輸移入品市場に就て見るに綿布麻布等の被服材料粟小麥粉の如き米代用品諸事業の設備に必要なる諸器械類農事改良に缺くへからさる肥料類其他石炭石油砂糖等の諸品は或は地方購買力の增進に依り或は工業的企畫の勃興に基き多額の取引行はれ市場殷賑の因をなせり此間に處して當行は他の同業者と共に金融の疏通取引の圓滑を計りたるは勿論特に他に同業者なき地方に於ては最も力を致して之に當りたりと雖も同時に苟も投機に亘れる取引は極力之を抑制して財界不測の變事を未然に防止するの方法を講したり今之を貸出の實數に就て見るに元來當期は例期閑散の時期に向へる爲例年の如く資金回收勝なりしも前述の如き取引繁忙の結果却て貸出の超過を現したり即ち當期末の貸出殘高は貳千貳百廿壹萬餘圓にして前期末に比し四拾八萬餘圓の增加なり進て此貸出金の內容を檢するに其放資物中首位を占むるものは勿論朝鮮物産にして特に農産物最も多きは其所なりとし之に次くものは輸移入品にして前述貿易の發展に伴ふ當然の結果なりと云ふへし更に右貸出金の借主種別額を見るに內地人に對するもの千貳百參拾五萬餘圓總貸出高の五割六分にして最も多きを占め鮮人に對するもの八百四拾四萬餘圓同三割八分にして之に次き其他外國人に對するもの九拾參萬餘圓にして同四分公共團體及同業者に對するもの四拾八萬餘圓にして同二分に當る

京畿道の獨墺人財産管理　約百十萬圓=十五日命令

京畿道にては既報の如く管內獨墺人財産の所有者又は保管者に對し八月十五日付を以て財産を管理する旨命令せるが

該管理令は　八月十日現在の調査に依れるものにして土地、建物、銀行預金、其他に就て施行せられ動産類に對しては目下實地調査の上夫々處理することゝし管理財産の管理方法は不動産に就ては登記の手續きを了すべく預金に就ては全部通帳を引き揚げ道長官名義に書き換るべく頂け入れ債權に就ては證書を引き上げ京畿道廳に於て保管することゝなれり而して管理財産は

條件の下は　土地建物及保管者に對しては左の如き收益を爲すことを得る規定あり即ち(一)管理財産の使用收益より生じたる收入中公課若くは管理費生活費を除きたる殘餘金は政府に於て之を保管するものとし前記生活費は政府の定に依る(二)使用收支計算書は毎月十日迄に前月分を提出すべし(三)百圓以上の建物修繕を爲す場合は大正八年朝鮮總督府令第百二十三號第三條の届書に其計畫書を添付するを要す因に今回管理令を發せる氏名財産種目を示せば左の如し

パウル、パウマン(京城昌信洞)土地二、九〇六坪、建坪三坪六九、預金九、一四二圓、貸付金一、〇〇〇圓
ヘルマンヘンケル(仁川山手町)土地一、七六三坪、建物一〇三九坪、預金二、七七五圓、貸付金六、九〇〇圓
マチルデエッケルト(京城長谷川町)預金一一、四七五圓、貸付金六〇〇〇圓渡邊アサ(保管者)(京城蛤洞)
土地三、七二〇坪、建物二三四坪、預金八、〇〇〇圓
エフカリスキー(京城西大門)土地五五〇坪、建物九一坪、貸付金六、六一〇圓
イダーゴルシャルキー　預金七八、六三三圓
パウルバウマン(京城昌信洞)土地一五三、六二九坪、建物二、八三三坪、貸付金一四、七五九圓、土地代金六、〇〇〇圓
ハウルシールバウム(仁川松坂町)土地二一、三五七坪、建物四〇二坪、預金二、六六七圓、貸付金二五、〇〇〇圓
イシシールバウム(仁川松坂町)郵便貯金九六〇圓
オットヘンセル(仁川花房町)預金三二圓
ベッテヘンセル(仁川花房町)預金六〇八圓
ロバートブリンクマイヤー(仁川花房町)土地八四五坪、建物五五坪、預金九六〇四圓
アンナヘンケル(仁川山手町)預金一五三圓

にして土地價額は四十二萬九千餘圓建物價額は四十九萬三千餘圓預金合計十六萬五千餘圓に上ると云ふ

京管局職員異動

京城管理局經理課員熊谷發一氏は鐵道建設事務所勤務に又城津建設事務所勤務高木政治氏は經理課勤務に十四日附を以て更迭し工務課員伊藤一郎氏は今回願に依り職を免ぜられたり

獨墺人財産管理　平南

平安南道管內に於ける獨墺人所有財産は鎭南浦所在土地六筆同所所在家屋三棟龍岡郡下代面廣沙里所在田二筆畓一筆種地各一筆現金三千五十三圓二十三錢なるが工藤道長官は去る八日附政府に於て之れを管理する旨命令を發せり

機關庫竣成

豫て新築中の龍山機關庫は此程竣成したるを以て從來の南大門機關庫を龍山に移轉し二十一日より龍山機關庫と改稱する事となれり

印刷會社許可

加藤鐵次郎外六氏よりの出願に係る新義州印刷株式會社設立の件は八月十五日付許可の指令ありたるが同社は本店を新義州に置き資本金五萬圓を以て各種印刷及び製本文房具の販賣を爲さむとするものなりと

平野組認可

合名會社平野組設置の件は豫て平野榮太郎外七氏より出願中の所八月十五日附許可の指令ありたり同社は本店を釜山府に置き資本金十萬圓を以て土地及建物維持經營の業務を營まんとするものなり

普通受驗者注意

來る十八日より三日間毎日午前八時より京城中學校內に於て施行せらるべき普通試驗受驗希望者は既に五百五十五名に達せるが右希望者は十七日正午迄に京城中學校に出頭受驗番號並に試驗心得書を受領すべしと尚朝鮮人受驗者に在りては朝鮮服にて差支なき由

新旅團長著任

既報の如く新任龍山步兵第四十旅團長奥田鴬陌少將は愛孃貞子を足立副官を隨へ十六日午前九時九分龍山驛着下車大野兵器課長以下の出迎へを受け徒步にて旅團司令部に入りたるが步兵第七十九聯隊は軍旗を先頭に營塚聯隊長指揮の下に前より旅團長官舍に至る道路上に二列橫隊にて南面して堵列し又森騎兵少尉の指揮する騎兵一少隊は旅團長の前衛に從ひたり

伺候式と申告

奥田旅團長は午前十時より旅團司令部に於て部下將校一同の伺候を受けたる後同十一時より宇都宮司令官澤田師團長を訪問し著任の申告を爲せり

南司令官通過

支那駐屯軍司令官南次郎少將は赴任の途十五日夜通過北行したるが奉天に一泊の後京奉線にて北京に出で同地より任地天津に向ふ筈

山崎博士講演

理學博士山崎直方氏は十六日朝安東より來城同夜より向ふ五日間龍山滿鐵社友會に於ける講演會に臨み既記の演題にて講演すべしと

織物界の盛況

在大阪　渡山生

織物課稅引上は來る八月十日より實施の筈なりしも織物業者の反對の聲喧しかりし爲め九月一日より實施さるゝことに變更せられしも其根本問題たる從價一割の織物消費稅の存在せる以上は數年後に賦稅せられたる織物課稅の引上は諸物價の昂騰素晴らしき今日に於ては已むを得ざる次第にて最近の織物界の盛況は實に驚くの外なし

米價高と勞銀の昂騰は地方の好景氣を來し織物界の盛況は先き行を案ぜられたる夏織物の如きも相當高値を示せるに拘らず意外に消化力強く空前の盛況を以て送られし後を享け人氣は昨今益々好調を呈し當地一流問屋側が八月早々冬織物の荷解きをなす旨地方筋へ通じたる向も尠からざるを以て前年に比し約一箇月早く茲數日を出でずして第一回取引の幕を告ぐべきか

一般織物問屋が手持品減少せるは事實にして隨つて地方筋の思惑外れの氣味を生ぜざるに非ざるからの疑念を生じ居れる模樣なるも目下の取引振りは問屋側に於てすら意外とする程の賣氣旺盛を呈し居れり

夏織物の盛況なりしに鑑み小賣業者が今秋需要の增加を見越し安心して買込むものなるが現在冬物は大半安値原綿にて製織せられたるものなれば時價に對比し採算上の割安なるに著眼せるものと云ふべく現在冬織物の相場は問屋不同ありて一致せざるも大體に於て前年の出發に比較して三割內外の高値を唱へ居れり

昨今の絲價を以て各織物の相場を律すれば尚ほ生産上不利なるを以て全國各機業地の製産[illegible]

當地一流問屋の調査せる主要冬織物の市價は前年に比し一割五分乃至六割方の昂騰にて平均三割九分方の昂騰なるが就中最も値上の甚だしきは木綿類の六割を最とし毛斯綸友仙の五割分之に次ぎ比較的輕微なる値上りは金巾の一割六分甲斐絹の二割毛召の二割五分位にして更に冬織物の製産增減は前年に比し遠州織物、尾濃織物、揉絹、綿ネル、毛斯綸友仙、色毛斯及び羅紗の供給は五分乃至四割方の減産なるに反し增産の著しきは八王子織物の四割增に次いで桐生御召鹿兒島紬、久留米絣の三割增にて其他の各綿織物は何れも五分乃至二三割の增産なりと云ふ織物界の盛況は賦稅引上げを促進せしめたる所以ならん

○**綠會松本理事招待**　在京法學士より成る綠會は十六日朝入城せる滿鐵理事松本丞治氏を同日午後七時朝鮮ホテルに招待し歡迎晩餐會を催せしが出席者は約三十名なりしと

人事消息

▲佐藤騎兵中佐(師團參謀)　十六日朝發南鮮地方に出張
▲石井英橋氏(工兵少佐)　無線電信開所式に臨みたる後廿二日歸京の豫定
▲朴泳孝侯　十六日朝東萊溫泉へ
▲松本誠之氏(代議士)　十六日京城通過釜山へ
▲松本滿鐵理事　十六日朝來城朝鮮ホテルへ
▲岡兜太郎氏(滿鐵監査課長)　同上
▲野田同人事係次席　同上
▲寺島才二郎氏(警視)・道岡京畿道警務部より忠淸南道警務部に轉任せる氏は十七日午前七時三十分南大門驛發列車にて赴任すべし

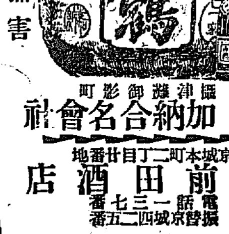
財界閑話

過般東京に行つた序に野田遞相や、財政經濟調査會委員たる三井の團理事長にも吾輩の意見だけは述べて來たがね……と前提して高野三井君は語る▲一タイ食料問題に就て何だ彼だと議論をしてゐる內地の有識者が朝鮮といふ土地に今少し目を注いで異れぬといけぬ▲朝鮮から米の一千萬石も增收しやうと云ふ方法は吾輩に云はするといふでもない、茲で一千萬石も朝鮮の米の增收を圖つて見給へ內地の食料問題なざあすぐに解決して終ふよ▲一千萬石增收法は何かと云ふのか、內地の金を朝鮮にウンとつぎ込むのだ今一歩進めて云ふと內地で外米の輸入に拂ふ金を朝鮮に注ぎ込むのだ、それで結構一千萬石は餘分にとれるやうになる▲今年吾國の外米輸入額は四百萬石になつてゐる、一億二三千萬圓の金を印度やその他に拂つてゐる、それだ、その一億二三千萬圓を朝鮮に持つて來て水利灌漑に投じて給へ、結果はどうなる▲洛東江に手を入れるもよし、漢江に手を入れるもよからう、各地の未墾地を開拓するも好い、一年分で不十分ならば二年分入れるんだ▲然も外米に仕拂ふ金は皆外國にもつて行かれるんだが、朝鮮ならば同じ一國內でその金はまうかる、そこに大きな違ひがある▲尤も內地に一年の外米を一粒も入れぬ、その金を朝鮮に注ぎ込めと云つた所でドダイ米が不足する、無論出來まいから要るのだから一年分若くば二年分の外米代金を仕拂ふつもりで朝鮮に金を注ぎ込めと云ふのである資金は公債を發行してもよからうじやないか▲それにはその有効方法の宣傳力說を朝鮮在住者は擧つてやらねばならぬ……中々熱心▲閑話子も君の熱心につり込まれてそのプロパガンダをお取次する▲仔細に觀じ來れば議論もあらう、然し大體論としては頗る面白い、▲外米代金一年分で鮮米の大增收朝鮮のためにも內地のためにもよい事に相違ない

輸入元　釜山大倉町　ミトヤ商店
米國ナイアガラ釀造會社(元詰)
ナイアガラ　ウヰスキー

保險金受領廣告
一金壹千六百圓也
右は共同火災保險株式會社と火災保險契約締結致置候處本月一日類燒の災に罹り今回同社淸州代理店川島由三郎氏の經由前記の金額正に受領仕候間茲に廣告候也
八月十三日
忠北淸州北道市場町　商號　德興仁　鄭子九

貸遊船
品質純良
龍山電車終點　共樂社　電話五二八番

大日本優等清酒　ハクツル
品質純良
衛生無害


製造元　攝津御影町　加納合名會社
發賣元　京城本町二丁目廿番地　前田酒店　電話一三七番　振替京城二五四番

ネッスルミルクフード
小兒　病弱者　老衰者
世界各國に於て醫家の御推奬を蒙れり
▲ネッスルミルクフードは醫師の特に推薦する所にして夏季殊に有効なり夏季の下痢症は主として纖弱なる胃に不適當の食餌を用ふるに因て起る
ネッスルミルクフードは此の危險なる普遍的病氣の確證されたる適應藥也
▲ネッスルミルクフードは金牌二十五名譽賞狀三十九を受領せり

到る處主要なる藥店及食料品店にて販賣す
瑞西國ネッスル及米國アングロスヰス煉乳會社に於てのみ製造す
見本申込書は次回の廣告に掲載可仕候

京城電氣會社産　鮮一手販賣
コールタール
龍山漢江通り八　電話四九番
金物商　島田忠作商店

▲債劵▼
朝鮮總督府認可　公債債劵月賦販賣
大連債劵株式會社
大連市西通一丁目十二番地　電話長一五二〇番　振替大連二〇〇番
勸業債劵高價買入　營業案內無代進呈

▲債劵▼

釜山商店案內

月刊　洋酒・罐詰　釜山　あづまや商店　電話三五九番　振替京城三九〇
發行　糖粉・官煙

酒精　燒酎　西貢米　碎米　砂糖　麥粉
釜山理立新町　福榮商會

石鹼界之覇王
スマートシトロン
トーマス

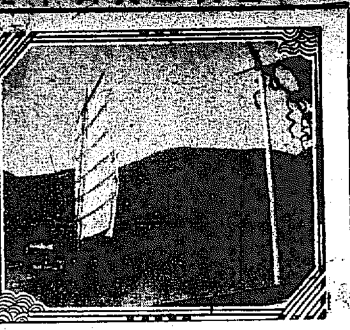
精選品質本位
洋鋼鐵道船舶材料其他工業用器械附屬品商
角野商店　釜山辨天町　電話三三番

長岡商店

青竹直輸入販賣
豊後石炭一手販賣
海産物肥料商
左官用海草
萬荷受問屋
釜山萬島町　谷商店　電話一一二番

東萊鑛泉水
サイダー
乾物　食料品　煙草　罐詰　雜貨
釜山　西合名會社

島田糸店　電話五七八



法聖浦

五道沿岸汽船行脚
船中暦日無し
天晴れの變態
鞍馬島を出て　京魚生

百日紅の花盛り＝船中の最高温度八十三＝悠々たる鞍馬島＝老鹿島の燈臺を左舷に望みつゝ＝鞍馬島より荏子島へ＝

八日午前八時アンカー揚り、一聲の汽笛で法聖浦に夜來御厄介のお禮を述べ、徐に外海に進む。

左岸に百日紅 の花盛りを見る　進路を西南に取つて靜かな海上を走す、乘船してより今日で三日三晩、携帶した書籍も既に讀盡して、尚ほ事務長から拜借したのも讀盡した、何と言つても船は大洋を航走して居る、而し折惡く今日は風が少い、でも室内で八十三度とは有難い、腹ばひになつたり、天井と睨みつこをしたり暦日のない別天地唯山中のみならんやだ

時には船橋に 登り海氣を滿喫する、あやにく海上に何物の餘興もない、而し乍ら乘船以來今日の八十三度が一番熱い日だ、と云ふ丈け避暑には徹底的である、正午船は鞍馬島に著いた、此處は陸地を大分離れた一孤島であるが、民家は各島同樣に澤山ある、山は到る處開拓せられ、遠に之れを望むと、臺湖坊主の初期を見るに等し、草山には牛が放牧してあるなど

湍日悠々たる 光景は生活難の困みも知らぬ氣なり。假泊すると共に、舟は直ちに纜を放れて船の左舷に著く、半ば水船になつた中から、蓬頭蓬顔、眼光鋭き一人は、古ほけた鞄を携へ悠然として船に上がるや、泰然自若として甲板に坐す、而して腰の廻りには四五個の小甕を提て徐に

船中を白眼する 天晴れなる變態ドヤ〳〵と取り卷けば之れは何事ぞ同地の郵便取扱所の御主人ならんとは、彼の悠々閑々振りには、流石の船長も事務長も大分氣をいらつて居た、御主人此の時少しも騷がず、吾關せんやと、書類を一枚々々取り出しての說明振り、孤島暦日なしの模範を示して、追はるゝ樣に退船するや、直ちに出帆、船は今荏子島へ向けて走せて居る、但し御主人が何うあつても、鞍馬島の港は好い、

風も大分出た 寒暖計を見ると八十度。右舷は碧海茫々、水や空なる青一髮の間、點々漁船の帆を孕まして來往するを見る、船橋に立つて双眼鏡を覗すと、水平線上一抹の黑煙は、長く雲の如に鏡底に落つ、木浦から遠かに於青島を指すものらしい、左舷に燈臺が見ゆる、老鹿島の燈臺である、遠近の島に漁船の群集して居るのは、ニベ漁だそか、內には例の急造家屋も見らる。最う一時間半で荏子島へ。

釜山地方大荒れ
激浪列車の窓を打つ
＝關釜間の連絡杜絶す＝

十四日來の釜山地方暴風は尙ほ止まず十五日夜半よりは雨を交へて大暴風雨となり十六日朝に至り益々激しく市中各戶は皆戶を閉し

街路の通行 全く杜絕の有樣にて只物凄き風の唸りを聞くのみ、十五日午前十時の觀測に依れば北々西の風、風力二十一米突五、降雨量四十五粍なし釜山港內は近年稀有の風浪にして高麗壹岐兩連絡船共繫留せられ居れり高麗丸の如きは十九日朝解纜し得る見込にて午前五時四十分著列車の貨客並に前日來各

旅館に宿泊 し居りたる旅客を收容したるも出港見合せの止むなきに至りたるが乘客中には既に明日切迫せる簡閱點呼にて歸鄕せんとするもの、父母親族死亡又は重病等の爲め歸途を急ぐ者或は又某遊廓青樓主人が抱へ娼妓逃亡の爲め追手として急行せんとする者等種々急を要する事故ある者多く連絡船出港中止の爲名狀すべからざる

混雜を呈し つゝあり一方下の關より釜山に入港すべき連絡船は十五日夜は遂に來らず十六日朝京釜の笛なる博愛丸も未だ入港せず從つて京釜線北行車と貨客の連絡なく午前十時釜山驛發急行は一等客皆無、二等客は各驛に赴くべき驛員の外二名、三等三十餘名、十一時發鮮滿直通列車は一等皆無、二等十名許り、三等五六十名に過ぎず近來になき閑散狀態を呈し居れり又是等の列車が第一棧橋停車場に停車中打ち上ぐる

激浪は列車 を打ちて窓硝子に海藻を附著せしめ海水は待合室に迄打ちかけ線路上は波に取り殘されたる魚類の跳返ると云ふ狀態也尙貴族院議員西大路吉光子も十六日朝來釜高麗丸の出港を待居れり（釜山特電）

九州大暴風雨襲來

九州南部にありし低氣壓の中心は十五日午後 [illegible]

國境貿易（新義州）

▲本年中鴨綠江兩岸及び新義州に於ける [illegible] 六千七十九圓にして輸移出に於て九十六萬四千八百二十三圓、輸移入に於て三百二萬三千三百 [illegible]

▲輸移出 米三九一、六五六圓▲魚類 [illegible] ▲大豆一七七、六三二▲黑鉛二二、二四 [illegible] 三七五、七二三▲鉄鋼九一、八四八 [illegible] ▲麥粉一〇五、七九一▲食鹽一〇六、七八一▲砂糖二三、六六 [illegible] ▲清酒六四、四六一▲麥酒 [illegible] ▲石油三三、[illegible] 五 ○ [illegible] ▲諸器械二二、[illegible] 石炭一一七、四九 [illegible] 及板四〇、六 [illegible]

平南黃海の
大旱魃
騷擾の神罰なりと信ぜらる

平安南道黃海道方面にては旱天打續き、爲めに農作物の多くは枯死するに至り到底

收穫の望 みなきにより農民の困窮甚だしく或地方にては望蜀或は一家を引纏めて他所に出稼するもの續出するに至れり又平南鎮南浦地方に於ては日韓併合以來毎年五穀豐饒農民は鼓腹し來りたるに今春に至り不逞の徒騷擾を企てたる爲め神佛の怒りに觸れたる結果現下の如き旱魃に遭遇し而も物價は

漸次昂騰 を續け農民の苦痛も加はるは之れ全く這般の騷擾に對する神罰なるべしと噂ちつゝありと云ふ。

奥田旅團長著任

後方＝足立副官と千綿副官＝諸列せるは步兵第七十九聯隊

京城と傳染病
衛生狀態の進歩から大分成績が良い

過般發生した虎疫も經過が良好で官民協力防疫に努めた結果先づ終熄したらしいが朝鮮では八月から秋口の九十月が

一番傳播力 の强い時分で今迄に隨分苦い經驗を嘗めるから決して油斷はならぬ虎疫以外にも各種傳染病は秋に入ると一府流行の虞がある最近京城府で調査した大正七八年度傳染病患者發生數比較表を見ると一月から七月迄發疹チブスと赤痢を除くと他の傳染病は一般的に非常に尠い數字を示してゐる以下は悉て一月から七月迄の比較であるが發疹チブスは昨年は

僅か卅六名 であつたものが本年は百九十三名に上つてゐる赤痢は本年が五十五名で昨年は三名尠い、ヂフテリヤ、猩紅熱などは昨年の二分の一も發生してゐない特に腸チブスは昨年九百九十五名の多數であつたものが本年は五百廿八名であるから一般から推して衛生狀態は逐年進歩してゐるに違ひない

傳染病發生 の月計で云ふと昨年は六月の六百六十二名、七月の六百六十七名が最も多く三月の三十六名が一番尠い本年は一月の卅七名が尠い筆頭で六月迄は逐月に殖ねて六月は二百卅一名あつたが七月に入つては僅に百四十七名しかない一般から云ふと本年は好成績であるから虎疫も過般の一名きりで終熄するとなれば其衛生狀態は

頗る良好だ と云へる統計で云ふと昨年は七月迄に千五百八十六名の傳染病を發生したが本年は其半數に近い八百四十九名しか發生してゐない相であるも兎も角此の際個人衛生が一層大切である。

愛孃を膝にして
新任旅團長奥田少將
少將は列車中痛快に語る

新任龍山旅團長奥田偈熙少將は十六日朝九時秘藏の愛孃貞子さんと十五六の桃割れに結つた小間使のみを伴れて著任した軍渾場まで出迎へると將軍は愛想良く挨拶を交してテキハキと愉快に語る、紫矢絣の派手な

銘仙の筒袖 を著た今年九つの貞子さんは心持ち白い頬を染て羞かしさに將軍の膝に凭れながら上眼使ひして將軍と記者の話に耳を傾けてる『いやどうも非常な時化で六連島を出るなり暴風の襲撃を受けた何しろ怒濤が甲板を洗ふので馬丁まで畏つて仕舞つて一の手入れをするものもなかつたが感心なのは職業とは云ひ乍ら

船長の自若 たる態度であつた、船員でさへ苦るしんでゐるのに船長のみは能く奮闘し馬の世話まで平氣で仕てゐた其の勇氣、其態度には自から敬意を表せられずには居られなかつた』と言葉を轉じ『お船は大分揺れたね』と愛孃の艶々した髪を撫で『併し是も良い經驗である貞子なども是から海外に活動する運命を持つてゐるやうから小さい時斯うした經驗を嘗めて置くのも惡くはない

家內は子供 の教育關係上私より遲れ今月末か來月初旬來る豫定である子供は貞子の上が二人下が一人何れも男の子許りである、夫婦の仲に子供四人では未だ尠い、少くとも六人以上こさへなければお國に對して申譯が無い、日本も世界の五大强國の中に入つたとは云ふもの、人口がまだ〳〵尠い、人口が多くなければ

完全な國防 も出來ないからうぢやないか、朝鮮人を同化するにしてもだ、朝鮮人の半分內地人が此方に居れば言葉は可成應でも日本語のみを使用するやうになる、言葉が通ずれば從つて意志が疏通しお互に誤から生ずる悲劇を見なくて濟む譯だ、自分は朝鮮は殆んど始めてだと云つても良い日清戰爭の際は第二軍に屬し蓋平方面の戰鬪に參加した、自分は最終に引揚げたので金州から柳樹屯に向ふ途中多大の感慨に耽つた事があるよ其の歸途

仁川に歸航 して電報を打つたが門司に船が著いたのが廿九年一月元日であつたから仁川に寄航したのは二十八年も押し詰つて暮の二十八日であつた、日露戰爭には姫路師團の東條旅團長の副官として參加し後に大谷喜久藏將軍の副官となり奉天會戰には所謂參の大隊長として參加した、非常に苦戰し聯隊長以下古參大隊長皆斃れ自分が聯隊の指揮を執つたが當初三千の聯隊は纔に追擊して到著した時は僅に六百餘名より無かつた其の後滿洲守備隊長として前後二回駐屯し大正五年久留米に轉任の際

朝鮮を通過 した事があるが當時は朝鮮に對し別に深い興味も持つてゐなかつたので漫然通過したが今度來任に際し山川草木總て自分に交渉があるやうに思はれて懷しくもあり興味が深くもある、是から大いに

朝鮮を研究 し度いと思つてゐる、ねえ君斯うして窓から見ると內地の景色と餘り變らないやうだね、ソラ鐵橋に來た、是が漢江と云ふ河だよ大きいだらう是れを渡るともう降るのだよ』と貞子さんのお髪を正して莞爾と笑ふと貞子さんも美しい微笑を見せた涼しい風が列車內を流れる

四人組の强盜
義州郡に現はる

去九日午後十二時頃平北義州郡古寧面ト端洞四百番地金享吉宅に短銃を携帶したる四人組の强盜押し入り短銃を差し付け例の懐文句を並べて家人を脅迫し現金二十七圓を强奪して逃亡したるが其際主人金享吉は頭部に長さ一寸五分深さ五分骨膜に達する創傷を受けたる由にて目下犯人搜索中なりと（新義州）

戀の敗殘者
轢死を遂ぐ

十五日夜九時四十分龍山驛發西大門行混合列車が京町踏切を距る北方約五十間の地點に差蒐るや突如身を躍らして線路內に飛び込み

無殘の轢死 を遂げたるものあり右の急報に接し龍山憲兵分隊より係員出張檢死を遂げたるが同人は年齡二十四五歲の色白の好男子にして頭部肩甲骨其他に數箇所の轢傷を受け左右の手首は切斷され鮮血淋漓として白地絣の著衣を眞紅に染めて慘狀目も當てられず遺留品に依り大阪市東區本町吉原商店商品陳列場商品部員松江留松なるものらしけれども京城にては

何處に宿泊 してゐたるか皆目判明せず同日南大門驛に同人が預けたる荷物二個の中其の一箱のバスケツト中には同人自筆の油繪スケツチブツクあり其のスケツチブツクに遺書らしきもの認めありたるが右に依れば失戀の結果世を果敢なみたるものならん尚其他斷片的の文章に『余は

人生の敗殘者 也戀の爲めに生きむとしたるも又戀の爲め敗らる』『たそチャンよ卿は何故に予が熱烈火の如き愛を受ざるか情懷の女よ戀しきたそちやんよ卿が弊履の如く捨てたる男は今や此の世と永久に去らむとす』等認めあり目下商品陳列場に照會中

孫秉熙等の公判
何時になるか未だ見當が付ぬ
目下數萬枚の調書取調べ中

過般京城地方法院から高等法院に廻附された內亂罪に關する被告孫秉熙其他は高等法院檢事永沼兩判事を豫審判事として

目下取調中 である孫秉熙に關する件は過般地方法院から受理すると直ぐ豫審判事を命じて着々取調べ中であるが何しろ數萬枚の豫審調書であるから調書の精讀だけにも多大の日數を要するので目下係判事は晝も殆ど夜に入るも調書を精讀してゐるから愈々豫審の終るは何日から開くか又

公判の期日 なども今から豫測は出來ない孫秉熙一味の四十餘人ならば當然法廷で公判を開けるが水原の百餘人が公判に廻附さるゝとなるとそんな大きな法廷がないので困る。豫審は全部新しく遣りなほして地方法院の分を反古とするか如何は未だ不明であるが大抵全部を新しくやり直す必要はあるまい。愈々公判となれば第一審で終審であるから被告

全部が出廷 して普通の通りにやるのである、最後に內亂罪だから峻嚴にするかと聞く人があるが檢事の職にあるものなら知らず我々裁判に從ふものは事件に對して峻嚴とか寬大とか云ふ豫斷をして取掛ると云ふ事は最も不可である我々は只事件を審理裁判をする上に一點の感情なども差挾む事は出來ない

國法は神聖 なものであるから兎も角本件は飽迄愼重に審理すべきものである』猶大法廷に就いては覆審法院の大法廷が土地調査局跡に建築されるものらしいので若し右の大法廷が本件公判迄に建築を終れば臨時に高等法院の法廷として使用されるかも知れぬ相である。

黄河氾濫
浸水四十萬畝

黄河の增水は依然歇まず最近に於て山東省の荏平縣等は其下流地域の利津縣等子莊一帶の堤防破壞し附近百有餘の村落淹沒し被害土地實に四十萬畝に達し其慘狀甚しく目下附近官憲出動して之が救助策に付極力奔走中なり（青島）

納涼列車中止

滿鐵の元山行納涼列車第二回の十六日夜南大門驛發は目下元山方面が大雨の爲め發車を中止したる由

全南の疑似
發病即日死亡

全羅南道靈巖郡昆一終面龍場里本田吉之助（四〇）は十四日午前八時發病同日午後五時頃死亡せるが檢診の結果疑似コレラと判明せり。系統に就ては目下調査中なりと

猪群現はる

近來平安南道中和郡唐山里附近大坪里後山より順安面蔡松里附近一帶に亘り猪群出沒して農作物を喰ひ荒し其被害甚大なるより同地方農民は中和署へ驅除方を願ひ出でたるが同署にては近く大々的に該猪群の驅除を斷行すべしと

學校防疫勵行
府廳からの通達

市內各小學校は虎疫發生に鑑み水泳管も中止し更に蔓延の兆があつたので朝起會其他の集合をも中止し虎疫に對して防疫に努力してゐる虎疫豫防注射をするのは一般でなく此上蔓延の兆ある場合に施行する相である府廳では十六日附で左の通達を各校に與へ充分防疫の徹底を期する由

（一）各學校に於て校門に消毒藥液に浸したる靴マツト（代用品にても可）を備付け出入する人に叮嚀に靴下駄等を拭はしむること（二）玄關口には消毒藥液を備へ付け出入する人に手を洗はしむること（三）便所は清潔に掃除し消毒藥液を撒布すること消毒藥液は千倍昇汞水、アイゼル液、石炭酸、石灰、石灰乳等

コレラ病はコレラ菌によりて發生し嘔吐、下痢をなし急に死の轉歸をとるもの多し豫防方法としては（イ）生物を飲食せざること（ロ）腸の健全をはかること（ハ）蠅のとまりたる飲食物は食せざること（ニ）便所は清潔にし消毒藥液を撒布すること且各自排便後は必ず石灰又は灰等を以て撒布し以て蠅の群集を防ぐこと（ホ）飲食前には必ず口をすゝぎ手を洗ふこと（ヘ）少しでも身體に異狀ある時は早速醫師の診察を受けしむること（ト）多數群集するところに行かざること（チ）コレラ流行地を避けしむること等の注意を與へ尚コレラ豫防注射液の注射を施行しむること

龍山雜事

△ドロン娼妓　龍山彌生町遊廓桃廼家牛島スミ方抱へ娼妓横濱生れ重吉こと女ばたん（二四）は豫て神戸在住の時より香川縣生れ西川甚次郎なる情夫ありしが深く云ひ交し居たるが本月六日甚次郎は女の後を追ひ來り何かさばたんを脅かす爲め人氣にも關するを以て桃廼家にては旅費三十圓を與へ當時二人は深く云ひ合したるものか十四日朝に至り突然姿を晦ましたるより樓主は驚いて其筋に屆け出づ

△投身未遂　慶州郡生れ住所不定李氏（三八）は良人に先立たれたるを悲觀し十五日夜漢江人道橋より投身自殺せんとせしも折柄通行の憲兵に抱き止めらる

騙つて遊ぶ

京城府長沙洞二六番地金學任方無職李貞鎬（三〇）外四名は京城府需昌洞一二七番地姜龍伊（二〇）より金錢借借の手數料として百六拾圓を騙取し本年三月大盛料理店に於て散財し八拾圓を妾に負擔させ又土地賣買に付て九千圓の內四千五百七十圓を騙取したる事發覺し鍾路署に檢擧されたり

自稱新聞記者

自稱大日本新聞記者中村伊勢次（三〇）は沃川及び大田を根據として廣告料を强要して數百圓を騙取したる事を沃川憲兵分隊にて探知し取押へられ公州地方法院大田支廳檢事局に送致せられ目下同局に於て關係者を召喚し取調中なり

蠅取瓶の取次

本町署にては蠅の驅除法として蠅取瓶の安價販賣の勞をとりしが此度更に蠅取瓶の安價販賣の勞をとる由なれば希望者は各派出所に出頭し購求すべしと右蠅取瓶は普通一個十五錢なるも派出所にては特に八錢にて提供すべしと云ふ又蠅取散も希望に應ずる由なり

お寺と教會

▲日本基督教會（長谷川町）十七日午前十時『耶蘇の進みし道』秋月牧師午後八時半『枯骨の谷』稿本氏『心の置き所』秋月牧師▲日本基督教會（若草町通）十七日午前十時『我主我神』井口牧師午後八時半『聖書講義』同牧師▲淨土宗日曜學校（本町）十七日午前九時より開教院に於て『見事の花』大町理事『海の人』落合氏午後八時半『進むべき道』落合師定師▲淨土宗教友會（御水洞）十七日午前十一時より教會所に於て大町理事平田氏の『甦れる人へ』▲京城組合教會（南米倉町）午前十時『ヒレモン書の教訓』吉本牧師午後八時半『理想の生活』松本雅太郎氏▲メソヂスト教會（旭町二丁目）十七日午前十時『生活問題とイエス』中村牧師午後八時『恵みの雨を待たん』同氏▲東本願寺（南山町）十七日前九時井上氏の正信偈、改悔文、佛様の讚、お伽、石坂氏の唱歌、お伽等、午後八時半『本願と宿業』長崎開教員『徹底の徹底』深內監督

❍本願寺說教　南山町東本願寺にては午後八時半より『白道の旅人』井上開教員『廣さより深さへ』深內監督の講演ありたり

❍妙心寺の提唱　府內長沙洞の妙心寺にて十七日午後正九時より碧巖錄の提唱あり參聽隨意なりと

本日溫度（午後二時）

▽京城　華氏八十五度（本社觀測局）
▽仁川　同　八十二度（本社支局）

暴風警報　風雨强かるべし

低氣壓は九州西方海上にあり七百三十粍を示し北東に進行中全羅南道沿岸南北道江原道咸鏡道沿岸を警戒す（十六日午前八時仁川觀測所發）

燈頃

朝鮮銀行では古い使用に堪へぬ朝鮮銀行券及支拂手形九十萬圓を十三日正午から同行內で銷却した相である▲あの煙突から出た煙が九十萬圓分だと聞いて物價騰貴の時節柄恨めしさうに眺めてゐた男があつたさうな▲コレラ發生！飲食物に注意せよとお互に相戒めて居るがサテ實行となれば容易なことでない▲何と云つても自然の力には勝てないもので此の二三日のやうに暑ければ矢張り冷たいものが欲しくなる▲軒並の氷店を覗いて見ても何處も千客萬來の大繁昌である▲夜でも少し遲れて行かうものなら大抵は賣り切れの理由を以て體よく退される、假令賣り切れでなくとも殆んど客の註文通りのものは提供して呉れない▲店に依れば可成り冷遇した上に『勘定は剩錢を要せぬやうに願ひます』テナことを書いて貼り出してあるところもある▲兎に角氷屋の鼻息當るべからず、コレラの威に [illegible] 利かないらしい。

塩は人氣一變氣崩れとなり多少 [illegible]

十六日後場　寄付　四三、四〇〇　高値　四三、八五〇　安値　四二、九〇〇

天氣豫報　東の風　曇但小雨

▽日出　午前五時五十分　▽日沒　午後七時二十五分　▽滿潮　仁川　午前八時三十分　午後九時 [illegible]

下痢と腹痛には

効力速にして且偉大なり
常に用うれば消化を能し
腸胃を强健にし
恐しき流行病
惡疫に罹る憂なし
◎夏の家庭と旅行には是非御用意

健胃固腸丸

藥價　拾錢、廿錢、卅錢、五拾錢、壹圓、參圓、五圓
本舖　大阪　東京　谷回春堂
●各地藥店に販賣す
●商標と名義に御注意
登錄商標

慶北盈德洪水 慘害の跡 事實は想像以上
警察官派遣、神話的助命

（前略）隣者今般當地は左記の通り非常なる水災に遭遇し殊に人生の慘憺事を極め在住內地人は隣里に迷ひ并當り各官憲及び附近有志等の救助に依り寢食し居る將來到底立行く方法無之次第何卒此際御同情の上廣く江湖の仁家に援り生業の途を開き度く願ひ上候こて與川慶北盈德江口港學校組合管理者より左の如き通信ありたり

當地は去る二日（陰曆七夕）より細雨降り初めたるに翌三日に至り突如豪雨となり同夜に至り愈も甚だしく盆を覆へすが如き豪雨こなり四日未明四時に至り各戶悉く浸水して床上に至れり益々增水止まず遂に未曾有の洪水こなり交通杜絕し二十五尺の水量さ隨せられ爲に同五時前に至り倏ち流失家屋續々發生し漸次流るゝ悲鳴を揚げて流れ行く人畜類を知らず其慘狀洵に形狀し難く到底人爲

救助の途なく

全く運を天に任す事二時間餘にして當地は荒原こ化し道路は變じて河線こなり所謂一朝にして隔世の感を爲すに至り漸くにして生命を助かりし者は裸一貫にして危難を免れ得たるゝ全く人心なく人事の悲慘を極めたり同十時過ぎに至り稍減水して漸次午後に至り交通し得るに至り聊か安堵の思を爲せしが警察官駐在所初め官公署學校郵便局等流失倒壞し

電話電信は不通

こなり內地人在住民にして浸水流失其他大損害を蒙らざるもの一人もなく人命の流失四十二人（四十五名の內三人は神話的に命を拾ひ翌日生還す）流失家屋四十九軒（內地人六十五戶の內住宅及び附屬家屋）其他家財總て流失せし總損害額（內地人のみにして鮮人は取調中）約八萬圓に及び當日は警察官吏及び有志の斡旋盡力に依り炊出の救助を以て生存者は少しく元氣快復し特使を以て各官憲及び附近の有志

慈善家に訴へ

んこせしも交通充分ならず翌日に至り盈德邑內官憲及び有志の訪問等を受け且つ諸方に通ずる運びに至り目下郡廳警察署其他官民有志の援助盡力を以て避難民の救護中にて又廳は南驅逐艦白雲等の派遣を乞ひ屍體及び衣類家具等の搜查中にして目下三四の屍體を發見せりこ

特產商大會
九月六七日大連にて

大連市要特產物取引人組合油房聯合會重要物產組合聯合主催となり九月六七日兩日大連商業會議所に於て滿洲特產物取引商聯合大會を開催する事となりたり參列者の割當は哈爾賓（六名）吉林（二名）長春（六名）范家屯（二名）郭家店（二名）公主嶺（四名）昌圖（二名）開原（六名）鐵嶺（二名）奉天（三名）撫順（二名）安東（四名）遼陽（二名）營口（六名）にしてこれに大連側の委員三十名を加へ八十餘名となり事務所は大連滿洲重要物產組合內に設置せるが日程は第一日（九月六日）午前十時發會式引續き會議午後七時より主催側にて參列員をヤマトホテルにて招待第二日午前九時より開會引續き議事正午にて議事を終了閉會式大連銀行の午餐會同日滿鐵會社の招宴（大連）

旱魃と蟲害
踏んだり蹴たりの粟と高粱、包米

打續く旱天に滿洲農產物は殆ご瀕死の狀態と云ふも不可なき有樣なるが近來夜盜蟲の發生夥しく昨年高粱包米等には何等被害を及ぼす事なかりし本年は此等の方面迄蔓延し被害多大なる模樣にて一家　昨今必死となり之が驅除に努めつゝあり高粱包米等は目下出穗期に際し此の旱魃に遭ひ更に夜盜蟲の被害甚だしき爲め之等作物中枯死せしもの尠からず若し此の狀態を以て週日を經過するに於いては此の損害は多大なるべしこ觀測せらる（大連）

朝鮮の理想的避暑地
月桂冠は何處に落ちる＝競爭は白熱的也

內地及朝鮮の大停車場に美麗なる大型扁額として揭揚せらるべき光榮ある地方は何處か＝我鄉の美を誇らんとするは何處か＝結果は其地方人士の奮勵にあるのみ！＝此の一擧に於て避暑地としての適否決せらるべし

京城日報社

輕鐵開通期

過般の水害にて運轉を中止し鐵道を復舊工事に努力せし朝鮮輕鐵線中殊に永川西岳間の開通を見しが十三日午後に至り西岳大邱間の應急工事を終り十四日より大邱慶州間の運轉を開始したるも尙ほ慶州浦項間は材料の供給其他に不便なりし爲め幾分時日を要し來る二十日迄に開通せしむべしこ因に會社の被りし損害は某紙の傳ふるが如く巨額のものにあらず至つて輕微なるものゝ如し

輕鐵と平澤

忠南輕鐵の近く許可せらるべきは既報せる如くなるが京釜線平澤及び長浦有志等は忠南輕鐵豫定線の天安に於て京釜本線に接續するの設計に比し平澤に於ても京釜本線に接續するに最も有利なるを主張し、起者側の了解を得るの目的を以て平澤有志石川崎三、松永武一、坂井武平、增田荒雄、金駿鉉氏等六名代表となりて長浦有志山口幸三郎、增田荒雄と共に八月十一日來群し群山商業會議所谷垣嘉市氏輕鐵發起者大平德三郎氏等に會見し平澤に於て京釜本線に接續するの有利なるを力說し豫定線變更に付て盡力方を懇請する處ありたるが一行は即日歸澤せり（群山）

忠南輕鐵調查

忠南輕鐵豫定沿線經濟狀況其他調查の爲め群山發起者大平德三郎氏の近く出張すべきは既報せる如くなるが群山出發豫定は八月十二三日頃なりしも都合に依り來八月十九日若くば廿日群山發程の事に變更したりこ（群山）

豆自動車（新義州）

多田榮吉氏は安東、新義州間の交通の便を圖らん爲め豆自動車を兩地間に運轉せしむべく其筋の意嚮を聞く處ありしが快速力を出すにあらざれば鐵橋通過差支なしこの意見なりし爲め追々豆自動車を購入し一般乘客の爲め一日十數回を運轉せしむる計畫中の由なるが片道約二十五錢の有樣に遂に

蠅と妓生
美人局流の惡事

晉州に『蠅と晉州生れの妓生の數を比較すると蠅が三疋多かりし』こいふ諺が有る妓生の產出地として有名なる場所にて娘を持つ親は擧つて妓生とするの慣あり、騷擾以來京城方面に出稼中の妓生は續々歸鄉せし夥しく相當の妓生には必ず不良青年が數名附隨し地方富豪の放蕩息子を誘惑し高利貸と聯絡して金錢を浪費せしむる惡手段を講じ近き例には某妓生が某より一千八百圓某より四千圓双方より捲上げし實例あり風紀の紊亂言語に絕し過般晉州警察署にて一擧に妓生及び不良青年四十餘名を逮捕したり（晉州）

旱害を蒙つて蔬菜の打擊
仁川支那人歸還

打ち續く旱天に稻作殆んご枯死に瀕し畑物の蔬菜類亦非常の打擊を蒙つて將來の生育殆んご望み難きものがある。今こそ西瓜の出盛りで野菜市場も相應の賑ひを呈して居るが眞に副食に必要なる蔬菜類を需むることは何物もなく而も値は滅法高である、之等は雨がない爲めの不作で

流石仁川名物の

野菜類も本年は頗る少いが此の光の耕作も此の分では殆んご見込みあるまいこの評判が附いて居る、さらぬだに野菜を培ふに獨特の技術を有し親切なる事一塊の土をも叮嚀に揉みほぐし程に勞を盡して從事する支那人耕作者が此の旱害の爲めに空しく蒔いた種も芽ささず徒勞に期する有樣に遂に

鍬を抛つて歸國

を思ひ立つのも尠しても無理ではない。既に野菜の耕作に從事する仁川在住の支那人數も夥しき數であるが彼等は全部相當の借地料を支拂つて自ら耕すのであるが本年の樣に成績思はしくなくては到底不引合を免れぬこ云ふ。斯くて遂に旱害こ一つは耕作者の減少こで本年の秋の需用季節には恐らく蔬菜類の大拂底を見るだらうこ觀測されて居る（仁川）

神秘劇 神の娘 全八卷
八月十五日より公開
帝劇に於て連日滿員の大好評を博せる『神秘劇神の娘』五卷劇『榮華長五郎』上場
京日讀者優待券（一枚三人共通）
割引 一等 半額四十錢 二等 半額二十錢
京城 於喜樂館
京城日報社

太陽の光
人間と日光

日光は又人間の身體の健康上大切なものである餘り日に逢はない人は顏が蒼白くて氣力に乏しく一見して弱々しい之に反して平生よく日に逢ふ人は顏の色黑くて元氣がよい銀行員なごは日に逢はぬ方で軍人は日に逢ふ方である

日光浴

日光が身體に及ぼす好結果に就ては今日理學上の十分な說明は出てをらぬけれども日光を浴びてをると血液の循環がよく消化力を增し自ら精神が爽快になる尙バクテリアを殺すから自然病原を去ることにもなる今日は裸體になつて日光を浴びることが外國で行はれてゐる幸ひ日本には角力と云ふ國技があるから之れを利用すれば日光浴と運動と兩方面の利益を得ることになると思ふ

家の向

光ドイツの諺に『北向の家には醫者が來る』と云つてゐる之は日光が室內に訪問しない家には病人が多いと云ふことである其で家はなるべく南向きがよいかうしておけば冬の寒い頃は朝日が室內に這入り夏の暑いときは夕日を避けることが出來る之に反して北向きは日光を受けることが少くて且冬は寒い西向きであれば夏分は夕日が暑苦しい

成可く日光を家の中に入れる日本式の家は緣又は庇を前に突出して日光の直射するのを防ぐ樣な風にしてあるのは之れは宜くないから成る可く此等を高くして日光が室內に自由に入る樣にすべきである

東西南北

▼△節米衞生の辻說法▼△ 元山日蓮宗頂妙寺住職は祇園の辻說法に倣ひ夜間幻燈機械を携へ同市中の辻々に立ちて節米及び衞生の說法をなす由

▼△盛んな元山花柳界▼△ 元山花柳界上半季の揚がり高七萬餘圓（九軒）にて筆頭は三萬圓近く一戶平均七千圓近くなれば月何れも千圓以上の勘定

▼△寺の釜子と九十圓▼△ 大分より清津某寺院へ釜子に來りし小野田元治（二二）は寺の生活が淋しく遂に寺家の金九十圓を持出逃走せしも捕はる

地名　道名
避暑地投票用紙
京城日報社

商況

株式

東京株式（至急電報）

	十六日前場大引	前日比較
東株	二八一、〇〇	三、八〇安
同新	二七五、一〇	四、〇〇安
滿鐵	一六八、〇〇	二、〇〇安
一新	一四九、五〇	、八〇安
二新	一一三、二〇	一、二〇高

京城現株（標準値段）

▲印騰貴 △印下落

銘柄	拂込額	時價
仁取	三七、〇〇	一六四、〇〇
殖銀	三、〇〇	△八〇、二〇
朝郵	一五、〇〇	四〇、〇〇
電興	一五、〇〇	▲一八、九〇
皮革	三〇、〇〇	二六、〇〇
東畜	三、五〇	一五、〇〇
朝紡	一二、五〇	二六、五〇
朝紙	三、五〇	▲三四、〇〇
商銀	五〇、〇〇	六三、〇〇
滿毛	三、五〇	三四、〇〇
滿糖	一七、五〇	▲三三、五〇
鮮煙	三〇、〇〇	一六、五〇
輕鐵	五〇、〇〇	五八、〇〇
鮮土	一二、五〇	▲二二、五〇
東亞（證據金加算）		三六、五〇

久原商事の今期

久原商事株式會社は現在資本金一千萬圓半額拂込みにて昨夏創設せられ久原鑛業株式會社の商營たりし販賣部の外に一般商品の輸出入並に仲介販賣を目的とし神戶市に本店を置き當地及東京市に各支店を設置し久原鑛業の各海外支店と相應呼して貿易に從事せしが昨年十一月末決算の第一期に於ては創業匆々に當り準備時代を免かれざるも營業の期間も僅々二個月に過ぎざりしを以て純利益金十萬圓內外を繰越せしに止まりしが第二期即ち本年上半期の五月末決算の營業は休戰後の打擊を被り二百四萬圓內外の大缺損を發表するに至り其缺損の內容は鐵及船舶の損害最も大にして鐵は百二十萬圓內外船舶は七十萬圓內外の缺損なる由にて船舶の損害は昨秋海運界高調時代に於て向ふ一個年間のチャーター契約を有せしことて本年下半期に於ても尙ほ幾分の損失を繼續せるも一方瓜哇糖の思惑買に有利を占めしと綿糸布類にも相當の利潤を得たれば本期決算は前期の缺損を取返し得るのみならず多少の配當をも行ない得べき豫想なるが如し

朝鮮電興昂騰

朝鮮電興株は前報の如き事情の下に買氣俄かに旺盛となり最近迄十八圓ドタにても賣買躊躇の姿なりし同株は今朝十九圓五十錢より二十圓迄百四十枚の商內ありて一躍小二圓方の高値へとなりたる譯なるが後尙は廿圓處の買注文入り込める由にて或は今一層の高値を現はすに至るならんか

東拓入電區々

東拓株は十五日本社入電に依れば舊株百十五圓新七十八圓十錢との前日に比し新舊共に十圓以上の高値こなれるが某店へは先物新七十九圓五十錢舊百二十五圓こあり右は拂込みを加算ししあれば拂込みを控除するこして過ぐる嫌ひありて又某店へは百三圓五十錢こ六十五圓八十錢こあり其の大差區々にして孰れを標準こすべきかに迷はされ居れり

鮮土更に昂騰

朝鮮土地經營株は三好氏の無配當株六千株に對抗すべき持株を爲し株主總會に就いて有力なる發言權を得て同社の改革を計らんこする或る有力筋ありと噂に昨今の爲値買進みは其の手筋にはあらざるかと益々賣惜しみの度を高めつゝ在るを以て呼び値は自然に釣り上げらるゝ氣味ありて本日は又復五七十錢方の上値を唱へ二十一圓五十錢より二十二圓三十錢迄二百枚の商內あり強氣の目標たる三十圓說も強ち無稽とは言ひ難き形勢となれり

朝紙ヂリ高

朝鮮製紙株は其の後目立ちたる商內を見ざるも相場はヂリ〳〵高に高値三十五圓を唱ふるに至れり

本日の商內株

東拓新六十三圓五十錢より六圓四十五錢迄百五十枚▲仁取百六十五圓五十錢にて十枚▲大新二百八十圓にて三十枚▲朝紙三十四圓五十錢より五圓迄六十枚▲鮮銀二百四十一圓五十錢にて二十枚▲鮮土二十一圓五十錢より二十二圓三十錢迄二百枚▲日銀千百六十圓にて十枚大正水力十五圓にて百枚▲東畜十五圓にて二十枚▲電興十九圓五十錢より二十圓迄百四十枚▲殖銀八十圓にて百枚

仁川株界

仁川株界の全體を占めんとする仁取株は此頃の株券配布と共に滅切高を演じ愈々眞價を發揮して從來の高値を上廻り今朝百六十五圓の新高値で五十枚丈京城方面に持ち去られた此言を耳にした或株主連は誠に氣の毒ですと暫く考へて居たが軈て口を開いて「此の頃仁取株は非常に他所から買手が來ましてドン〳〵云い出し値段で買ひ取つて行く振合ひがある昨日も私の內に或人が來まして百六十四圓で百株丈分けてくれんかと賴まれたけれご私は値段の如何に拘はらず今賣る株でない事を斷りして居りますから程よく御謝絕して居りましたが其の手筋からツク〳〵考へて見ますこと仁川邊りの買手ではなく京阪地方で取引所株の味を覺えた手口と推測しました兎に角仁川の特產とも云はれて居る前途有望の仁取株が此の通り他所に持ち運ばれては七八割の配當金は全部他所に取られる事になりはすまいか大に遺憾の至りである」と憂ひの色を現はして居る

北濱だより

休戰後經濟界の大爛りを喰つて泡沫會社はパク〳〵潰れ橫濱正金になつたが近頃は如何やら斯うやら靜まり掛けたこの思惑で何も靜まる處か大きの後何んな風に變る恐ろしく風向きが知れぬので事業の內容も昨日今日こ知らずに金を出してゐる丸持連は眼を皿の樣にしてゐるがさて出し拔に鼻をつまゝれても譯らぬお先き眞暗日本電力が近頃での大尻尾で社長の松本が蜃氣樓で金を集めて夫々握るごろんで騷ぎに恐慌連中愈々恐慌の態たらくである

□此の有樣を今更乍ら如何にごうした返しの世の中だもそれは泡沫會社は結局社會の秩序が緊ふに從つて打ち倒るべきものであるなるべく早く片付いて吳れる方が却て良いのであるこんな事は今更に會社及び其他に對する注意これ警察とかは各其筋に於て當り扱つて當局としては預り知らぬ處であるが

□要するに金を持た人が斯る者に引つ掛つて飛んだ損失を招くのは其の事業の內容又は經營者の人格等を調査せず表面架空的數字の利益分配に心を動かすから來るのであるか目下は興信所其他斯種の事情を精查すべき機關が充分に備はつてゐるのであるから宜しく此等を利用して萬般危險無き程度の調査をしてから投ずることが肝要である

仁川米豆取引所仲買人
園 仲買店
電話一六二・長二八三番
電略シ又ハカクシ

米況

東京期米特電

●十五日後場 寄附 三七、三九 高値 三七、一八 安値 三七三、九 止め　日前場

大阪期米特電

●十五日後場 當限寄付 三十九圓九十六錢 中限寄付 三十八圓五十九錢 九日前場

●十五日後場 寄付 三七、七三 高値 安値 止め

神戶期米特電

●十五日後場 寄付 三七、四〇 高値 安値 止め 九日前場

仁川期米 十六日前場
（空鼻りに軟派活躍）

前日氣迷裡に打ち止めし折柄今朝は天候北の風に雨模樣を含める仁川觀測所の發文に依れば颱風の中心地は九州南西の海上に來り雨の襲來の警報に又復軟派は活躍して立會は當限出來ざるが中限四十四圓〇八錢に回買で始め先四十四圓〇八錢に寄付八十八錢と五丁安に寄付八十六錢と追擊せしも相變らず押目は來客筋の買物衰へず九十四錢に盛返し二三錢に硬軟の激戰を演じ一錢と終り

▲第二節 當出來ざるが中限四十四圓〇一錢に回買で始め先四十九錢より八錢と辿りしも押目待ちの買物衰へず四十四錢丁度と盛返したるか戾りは賣物其他より現れ九十七錢と押し九錢と引

▲第三節 當中出來先四〇二錢より三錢と辿りしも矢張雨近かの懸念に九十一錢と押し保合ひに引

▲第四節 當中出來不申先九十二錢より㊀の猛烈賣に八十九錢と追隨せしが押目は鮮人筋の買物衰へず九錢と返し八錢と保合ひに引

▲第五節 當中出來不申先八十錢と㊀囲買に不勢に始めしが押目は㊀の全囲買に六と返し四五錢を小競り結局四錢と不勢に散會

愈々賣壓迫

前日來雨賣旱天買に硬軟入り亂れて四圓の關門爭奪に烈戰を繰返せしが今朝の頭上愈々雨の近づきたると測候所の警報に軟派の氣勢漸く頭を擡げ立會へば先四十三圓九十八錢より八十八錢と中空の雨模樣を眺めたる強氣測は此處を先途と防戰に努め四圓六錢迄盛返し如何に軟派の形勢を示したれど硬軟の買物に連れ軟派氣を合せより五節遂に八十錢へ崩れ立ち硬派の防戰六錢迄返し此の激戰を極め此際雨あらば軟派の活躍は更に惡化すべきは勿論の事何にも明日に雨を見ずとも今日の曇明けを危險視さるゝもの軟派の活躍と相俟つて後場は投げ物を招致し今一段の崩落あらんかに見受けらる

	寄付	止め	高値	安値
●中限	四四、〇八	四三、九八	四四、〇八	四三、九八
十六日前場	四三、九八	四三、八四	四四、〃三	四三、八〇

公定相場	一節	二節	三節	四節	五節
	四三、九〇	四三、九二	四四、〇〇	四三、〃九	四三、八五

◇出來高 二十一萬四百石

◇帳入値段 當限 四十三圓五十錢 中限 四十四圓〃二十 先限 四十三圓九十一錢

仁川米豆取引所仲買人
仁川海岸町三丁目
㊀ 仲買店
電話長九〇五番 四四番 八三三番

市場雜觀

期米界には理外の理こいふ事多く足らぬ者が餘る場合も珍らしくない去れば現在の相場が其の原則に基づいて居りはすまいか勿論本年の作柄は朝鮮一帶を平均して平年作と見る事は出來ぬが現在強氣の悲觀され居る如く枯死全滅こを平均して五割乃至六割の減收など獲らぬ先の日鱗米迄適用して市場の人氣を刺戟し旱害相場を待ち構へて居るが一向其の反撥がないのみか逆は反落の前兆を示して居ると見る人もある強材料に買過ぎ多き結果と見るの外ないが併し軟派としても夫れを貢崩すべき材料と動機がないので陣を狙いては買崩しを試みて居るが忽ち相場は四十四圓臺に蹴上げて根底の強硬なる事を思はしめて居るが併し千町の堤も蟻の一穴よりと云ふ譬くも有れば海上萬一の相場丈一夜の夢に如何なる硬軟の材料を襲來するや計られねば寸時も油斷は出來ないが鮮米の消費たる內地は打續きの好順氣に非常の豐作氣構へを實らして足らぬこ騷いだ米も漸略見當が付いたので他人の前氣を頭痛に病んだ鍋境朝ら存外樂觀の形勢を示して買現いで勝を占めた硬強のカン〳〵も理想一偏の軟派に蹴散らかされたこうになりて來た其反面に凶作こ泣いて居る朝鮮も忠淸道以北は四割及至五割の減收は免かれぬこしても以南は一帶を通じて豐作を實し其上本年は植付反別も特に增加されて居るので現在の調查で實收壹千二百萬石は下らぬこの說も有れば眞逆木の葉や草の根を喰ふような事も有るまいこ釜山群山其他沿線の正米筋は續々賣進んで來る傾向がある去れば素人買ひの玄人賣りて相場は睨合ひて居るそれに迷はされた提灯連は此の保合崩れに一番成金振を發揮せんこ六尺の褌にシッカリ力を入れて待構へて居るこは立ち後れをせねように賴みますで

東西硬軟の理由

東西の鞘開きは愈よ擴大して小百丁鞘となり小軟西硬の傾向顯著なれるが鐵道無貨の結果東販市場外米の格付九ト錢方相違せる丈け東京の割を剝がしたるは當然の成行きとふべく殊に仕手關係に見るも東京には買占金が強氣米を提げて當限に當据れるに反し大阪賣方の烏合勢に過ぎざる一面買方の總反撥頑なる外深川筋其他賣方の陣頭揃ひなる北國が豐作を謳歌され居れり今の新米氣分の濃厚となり且つ早場は東京は新穀出廻り時期の關係に比し約一ヶ月早き關係より勢ひ事情も東軟を招致せる因をなせるが如くにして今後尙東西の鞘開きは一層の擴大を見んかに觀測する者多し

京城正米市場

旱害見越しの大なる鮮人間には前日來の惡風襲來により愈々作物悲觀の念を加へて思惑更に熾烈となり鮮白の如き別項の成行きを示し居れる有樣にて玄米氣配も從つて上向き步調となり今朝は地摺北上四十一圓見當を唱へられ殆ご熱狂に等しき態度を現はし來れるが內地人精米筋に於ては値頃の割高に移出商社絕せる上內地は豐作氣構へと政府の外米鮮米賣出し壓迫に安氣配を移せる折柄誰進まんとする者なく先行き却つて安値見越しを抱ける關係より鮮人間に於ける思惑商內を除く外は皆目手合なく殊に頭上の雨模樣に期米惡化の徵候もあり此處一兩日は尙傍觀の商狀に推移すべしと思はる

大豆思惑買亂調

大豆は小豆と同樣旱害特に甚しく昨今既に枯死せるもの多く此儘先例の潤雨を見ることも最早回復の見込みなき箇所少なからざるやにて鮮人間の思惑は粟小豆に次で熾烈を極め三井其他會社其他の手筋に於ては內地積殘りの持品の大半を之等手口に賣捌めたりこの噂さもありて昨後の如き藥破らしき勢ひを示し出來値は此際腐々たるを免かれざるも高値は龍山物の十九圓六七十錢迄の手合ひ行はれたるか如し尤も此邊の高値は旱魃人氣に煽られたるものなれば既に實勢以上に行過ぎ居れる嫌ひなきにあらず眼光天候の如何によりては反動甚しからんとの觀測行はれ居れり

京城岡崎町
福岡精麥所
壓搗麥 挽割麥 白麥
電話長貳壹六四

鮮白更に躍進

昨五十錢高を示したる鮮白は今朝更に熱狂的に人氣を煽り南大門市場にては一等米四十八圓を唱へて昨日より一圓方の突飛を演じたるのみならず同市場外にては四十九圓にて出來せるものありなご傳へられ其成行き頗る亂調に流れ來たるが如く鮮人側に於ける旱害見越の如何に大なるかを思はしむると同時に眼先天候の模樣により暴落何れか一大激變あるは免かれ難かるべし

支那粟ボンヤリ

支那粟は昨夕方更に好勢となり海城物十九圓七十錢にて若干手合せ行はれたるが今朝は天候の雨模樣に買人稍や躊躇の色あり氣配ボンヤリ十九圓六十錢見當を唱へられづゝあり

仁川正米市場

內地期正米の軟弱を移し續いては仁川期米の氣迷に旱魃見越の思惑買ひを阻害して正米市場一頓挫の光景を示し本日の如きは更に商內出來せざるが人氣は幾分安唱への振合ひを示し平穩三等神力四十四圓七十錢見當黃海道の在來種は品薄にて更に當を唱へられづゝあり

は一寸一服の風情にて十八圓五十錢見當保合なるが其他雜穀は小麥二十五圓大麥十三圓五十錢見當に小口商內を見るに至りしが大豆は白川物十八圓六十錢龍山物十九圓二三十錢長端物十八圓九十錢見當にて揉合ひ居る如し

各地正米相場（十五日）

釜山三等米 商內出來不申
仁川三等米 四十四圓（氣配保合）
群山三等米 四十三圓ドタ
（大阪に於ける十四日相場） 四十五圓七十錢

植油類暴落

休戰來對歐輸出旺盛の影響を受けて大連及內地植物油市場は非常の活氣を帶び逐次昂騰し來りしが主要油類たる英國が過般精油類の價格を公定せる爲め非常の打擊を蒙り暴落を告げたるが英國政府の原料品價格に對する制限引續き擴大の模樣ありて同國市場著しく氣迷居たり從て新規注文も見合せらるゝ振合ひありてこれが爲め本邦市場も氣配益々軟弱に傾き種油は更に三圓方低落して九十五圓見當を傳へ大豆油も五十錢安の三十四圓六十錢豆油は銀建七十錢安の十五圓を唱へつゝあり落花生油は品薄の爲め十月積にて五十圓見當を持合ひ椰子油は商內皆無にて相場無見當なりと

三品

●十五日後場
綿布三銘 十六圓六十錢
八月限 五五一、一〇
一月限 四八九、五〇

小賣白米

●一等米 五十錢
●二等米 四十九錢五厘

白米標準値

一等米 四十九圓丁度

神經衰弱 生殖器病患者に急告
恐るべき手淫の害毒の爲に人生最大の幸福を失ひ神經過敏●頭重●頭痛●眩暈●健忘●記憶力減退●頭內鬱悶●食慾不振●全身●倦怠●四肢の麻痺●精力缺乏●夢精●早漏●發育不完全等に苦しむ方は至急本院に申込まれよ
藥價十四日三圓五十錢
東京神田三崎町二丁目一番地
陽春堂藥院
電話本局一六四六番

物價調節ニ對スル政府ノ方針既ニ決定セリト聞ク財界ハ益々堅實ナル株式事業ニ集中スル近キニアリ此際弊店ハ左記諸株式ノ有望ナルヲ觀側シテ推奬ス
▲日本郵船新株 ▲大阪商船新株 ▲主ナル電氣電力ノ諸株 ▲中流ノ紡績諸株
▲朝鮮紡織株 ▲朝鮮電氣興業株 ▲朝鮮皮革株 ▲政府補給アル諸株式
尙弊店ニ信託部ヲ設ケ御便利ニ取扱申候
證券公債現物問屋 京城吉野町一丁目
㊦ 古閑豐記商店
電話長三十番

故李太王殿下御嘉納品

上製 廿瓦入 一圓廿錢 四十瓦入 二圓廿錢
特製 廿瓦入 一圓五十錢 四十瓦入 二圓八十錢
京城 太平通り 京城日報社代理部
振替京城三〇〇番

內科 小兒科 入院應需 ヂアテルミー科（醫療電氣）
京城府明治町二丁目（本町江戸川橫より入る） 電話三七八番
中島醫院
院主 中島貞

安住かとりり線香
發賣商標

一寸四五本 試してごらん
落ちるわ〳〵雨の降るよう
ポトリ〳〵と一匹殘らず
後の涼しさ快さ
到る處の藥店及び荒物屋にて販賣す
大阪北區曾根町
安住大藥房

痔疾專門
京城明治町二丁目（本町より入る中央）
京城久枝肛門病院
電話二一〇二番

日本名刀傳 百卅三

東京 田邊南龍講演

堀川の國廣（六）

スルと世の中には香具師といふ者があつて夫ア甘い話だ、其泥亀を買つて見世物に出して一儲しやう』と云ふので、其の趣を數丸に申込むと數丸は『俺は殺したが俺の儲けにすると云ふには不可ん、近所の村人に相談するが宜い』と云ふ、其處で村人に會つて相談をして其頃の金で拾兩で賣れた、此の泥亀を買つて首と胴を何かで縫付けて一番先に神津の宿の賑やかな所へ見世物小屋を拵へて、香具師が『サア〱御覧じろ御覧じろ、此は飫肥の在の霧ヶ淵で千年も萬年も經た泥亀でござい口上が六疊敷もあらうと云ふ首が大きさが四斗樽位もある泥亀だ、捕へたのは數丸と云ふ少年だ、サア代は僅の十文だ、お早く御覧じろ御覧じろ、其數丸と云ふ少年は十七だが二十五六にも見ゆる大男で豪傑だ、唐の樊噲張飛關羽日本の坂田金時、渡邊綱、朝比奈三郎なぞと云ふ人を五人も十人も固めたやうな豪い人だ、何うだい十六や十七で大したものだ、サア少年の捕つた泥亀だ、サア代は見てのお戻り早く見ないと見損ふ……』と云ふ大變な評判だ、大勢の見物が遂引込まれて見に入ると、兎に角大きな物だ、其の大きな物を生捕つたと云ふんだから、一同は舌を捲いて數丸の剛勇に驚くばかりだ、サア是から其香具師が諸所興行して歩いて其處毎に霧ヶ淵で數丸と云ふ十六や十七の少年が、疊六疊敷もあらうと云ふ泥亀を退治した、僅十五六の少年だと云ひならしたから、遂に數丸と云ふ名前は遠方まで響いた、是を聞いた父の國昌、嗚呼少年と云ふものは仕樣のないものだ、夫ア困ッたことになつたわい、此儘家へ置いたらどんなことになるか知れないと、或日一間へ數丸を呼んで 父『コレ、數丸、貴樣は飛んでもないことをしたな、先日狐退治を致した時に、彼れ程戒めて置いたのに、又々霧ヶ淵に泥亀などを退治たとは不届きな奴だ、もし身體に怪我でもあつたら、殿樣に對して相濟まぬ、此の家は代々殿の祿を戴いて刀を鍛つて居る、安穩に此の世を送つて往くのも皆殿樣の御蔭だ、然るに左樣な輕忽なことを致して萬一過ちがあつたら我家へ汚名を付け殿へ對して相濟まぬことになる、いくら力があつたとて肉身の力は高が知れて居る、二十人三十人と一度に掛られて見ろ、到底それに打勝つことが出來るものではない、依つて今日以後修業の爲め家には置かぬ、京都堀川に國廣と云ふ名人が居る、此の父と同じ師に就いた人だ、此の人へ頼つて參つて教わを受けろ 數『ハイ、誠に御心配をかけて、相濟みませんでございますが、どうか私は武士になりたうございます、併し決して代々傳はりました家業は廢しません、就ては私の家は代々刀鍛冶でございますが、刀は鍛ちますが武士となつて戰場へ出まする間々に鍛ちたうございます、此の儀どうか御許しを願ひたう存じます 父『ウム、それは宜い、今天下は麻の如く亂れて居る、武士となつて戰場へ出なければ出世は出來ぬ、それは宜いが、我家は長らく伊東家の臣として祿を頂いたことを忘れてはならぬ、代々此の飫肥の家臣であることを心に銘して、たとひ如何なる武將に一時は附隨することも後は必ず此の飫肥へ歸れよ、呉々も申して置く 數『それは忘却仕りませぬ、唯今北國へ北國の豪傑英雄が澤山居りまして、武田上杉家の軍法は天下に珍らしきものと聞き傳へて居ります、それに上杉謙信は人物も優れて居りますとのこと、願くは一度は越後に參つて上杉謙信に隨從して見たくも思ひます必ず身體を大切に致し最早輕々しきことは致しません、三四年も經らますれば一度は歸りまして御兩親の御氣嫌を伺ひます 『ウム、能く申した、其位の心掛けがあれば此父も安心致して居る』

慶北防疫會議
汽車檢疫開始

十三日大邱府上町在郷軍人分會集會所に於て虎列拉防疫に關する會議を開催したる結果十二日午後二時釜山行き列車より開始したる列車乘客人員に對する檢疫に就いては成るべく停車時間を短縮し出來得る限り汽車の延發をなさしめざる事及び送迎人並に旅館客引き等にして客車に侵入するは鐵道規則に違反するは勿論檢疫施行上に多大の防害なるを以て絕對之を禁じ送迎人及び客引等を侵入せしめざる事但し若し乘客中に疑はしき患者を發見したる際は送迎人客引等にして一歩たりとも客車内に入りたる者は下車を許さざるは勿論乘客同樣隔離するを以て一般送迎人並に客引等は絕對に客車に入らざる樣注意すべし事若列車中に於て患者を發見したる時は同乘者の全部を隔離收容すべき候補地として目下の點替九中段宿舍を陸軍に交渉中の所陸軍も快く承諾したるもの如し（大邱）

京城長谷川町朝鮮温泉前
岩田病院
内科 一般外科 花柳病科
正五位勳三等 岩田末彦
入院隨意 （電話一六二〇番）

八月十八日
（舊七月廿三日） 月曜日 ▲みづのえさる ▲七赤 ▲心 ▲大安 ▲やぶる

▲七赤▲兎角要領を得ざる日出世は
▲八白▲好き日なれど躁せらば失敗すべし、熟慮して進まば吉
▲九紫▲物事思ひ通り運ばぬ日
▲一白▲吉慶集まるべき好き日なり思ひ立たる事は行ふて吉
▲二黒▲思慮圓に當る一なれども考へて爲さざれば吉運を逸すべし
▲三碧▲物事思ひ通行かざる日
▲四緑▲當てにならぬ事ある日
▲五黄▲ちよつと去就に迷ふ日
▲六白▲輕快にキビ〱と物事の運ぶ日なり萬事に吉

演藝案内

京城本町 壽座 電話五七八
▲當る八月十八日より毎夜五時開場
▲新派好美團一行 （初日）毎夜五時開場
小島孤舟氏作『光子』全七場
▲友人久保健三 岩田早苗 ▲惡漢弥松 外山逸平 ▲女優緒方かなめ 中村 ▲千代 大酒井忠俊 ▲早川刑事 島村久 ▲女優東花子 神尾玉尾 ▲女優西田信子 肯邊富子 ▲羅漢虎松 熊谷要一郎
外に拾余名登場
入場料 特等金壹圓 壹等金七拾錢 貳等金五拾錢 三等金卅錢

いよく御待兼の
京阪落語
桂都雀 大一行
本日より開演仕候
浪花館

日本活動寫眞會社代理店
櫻井町 大正館 電話八七三
當る八月十五日より大提供
◎實寫 凍氷製造
米國キーストン會社特作 ◎ニコ〱活劇『弱い山賊』長尺
米國ラスキー會社大傑作 ◎冒險奇談『魔城の寶』全五巻
◎戰國時代劇『魚屋宗五郎』四巻

京城明治町 浪花館 電話二六〇
東京落語桂都雀一行
當る十六日より毎日夜七時開演
▲落語 ▲落語 ▲音曲 ▲落語 ▲落語 ▲落語 ▲人情噺 ▲長唄 ▲大切

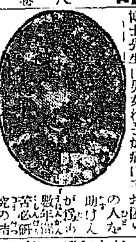
満員御禮
松之助十八番劇
魚屋宗五郎
大冒險奇譚
魔城の寶
大正館

本町一丁目 有樂館改 喜樂館 電話九七番
當る八月十五日より特別大興行
日活會社本年度新規撮影 實寫『京城の景況』▲漫畫 凸坊大の巻
日活松之助中村扇太郎合同劇 『業平長五郎』五巻
世界最大最美の活動大寫眞 米國フォックス會社特作大雄篇 人魚劇『神の娘』全八巻

本町五丁目 文樂座 電話二七八番
當る八月十六日晝夜二回
▲侠客傳 ▲正宗孝子傳 ▲女武士道 ▲一扇舞消稽録 ▲一休漫遊記 ▲水戸黄門漫遊記
吉田一行 桃中軒雲昇 桃中軒如風 三輔 岡本霧春

本町一丁目 壽館 電話一〇五〇
浪花節前田節子一行
▲太閤記 ▲紀文大盡 ▲浪花五人男 ▲辰の口評定 ▲谷風情角力 ▲源平盛衰記
前田節子

人から嫌われる
わきが
◎根本的なほせ
◎疑ひ深い人は死ぬ迄なほらぬ
化學的療法無代進呈



不思議になほる

月經 新藥 レスクリン
大阪北區曾根崎上一丁目三六地
常盤藥房 振替大阪二八三七〇番

いやでも治る
りん病七日藥
慢性麻病 女子淋病 急性麻病
大阪堺筋八幡筋北 山口藥院

李王職用御
模範 牛乳
石鹸 ニウソ
京城 東亞牧場 [illegible]

厄介な夏の髪
今流行の髪油に就て
美髪師 根本てる子女史談

□惡い髪油は危險です。秋になつて髪の脫けるのも原因は夏の手入が惡いからです、と言へば皆夏の手入を惡いから夏は髪の手入是非必要なものはありません。加之夏は眞に夏は髪の手入最も肝要なことで、他人樣に迄つけられない樣になつてはなりませぬ。之れは衞生上惡い許りでなく、他人樣にまで厭な思ひをさせますから夏は髪油の擇び方に餘程注意しなければ飛んだ赤恥を搔く事があります。
□粋も不粋も髪油次第 髪を結びます時に妾共が一番に感じますのは中す迄もなく結ひ上げました髪油が顔に一向に染まない事です、ホーカー美髪液を使ひましても少しも崩れないで結ひ上げた時の儘に保ちます。

ホーカー 東京神田和泉橋 本舗 堀越嘉太郎商店

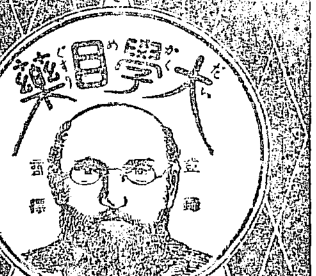
炎熱から救はれた人々
消化、殺菌、蘇生の三大特効ある
寶丹の一匙で……

強大なる殺菌力
守田寶丹には強大なる殺菌力がありますから誤つて飮食物に附着した黴菌から吐瀉、腹痛を催したやうな場合でも寶丹をスグ服めば黴菌を撲滅して激烈な惡疫に變化せぬ中完全に豫防されます、守田寶丹は家庭に於ける應急豫防藥として卓効があります

主治効能
◉氣付、溜飮 ◉中暑日射病 ◉食傷、水中り ◉飮過、食過 ◉腹冷、吐瀉 ◉消化不良 ◉下痢、腹痛 ◉船車酒の酔 ◉頭痛、眩暈 ◉惡疫豫防

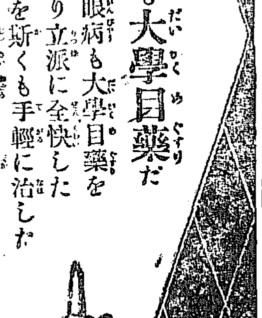
定價 金廿錢、金卅錢、金五十錢、金壹圓、金貳圓
金卅錢以上ニ寶丹匙添附
全國知名藥店に有り

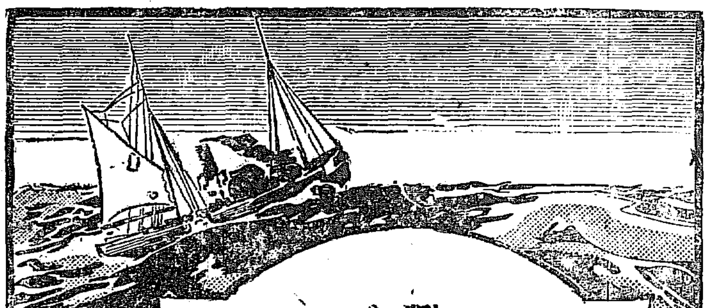
起死回生 守田寶丹
本舗 守田治兵衛
東京下谷池之端仲町
電話下谷四五三九番
振替東京二九八五番



大學目藥

何と言つても大學目藥だ
多年苦んだ眼病も大學目藥をさして此通り立派に全快した
惡性の眼病を斯くも手輕に治した大學の効驗は實際驚くの外はない





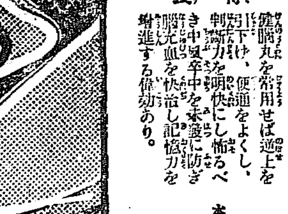
人生の波濤を凌ぐに強健なる頭腦を要す

強健なる頭腦を求むる人は
健腦丸
服用が第一

主効
腦充血 腦貧血 腦中風 腦膜炎 腦卒中症 腦病 逆上症 頭痛 健忘 神經痛 耳鳴 便秘

特長
健腦丸を常用せば逆上を引下げ、便通をよくし、判斷力を明快にし怖るべき中風卒中を未發に防ぎ腦充血を快治し記憶力を增進する偉効あり。

第四回 金二十錢 中週 金四十錢 一週 金七十錢
價 二週分 金一圓廿錢 三週分 金一圓八十錢 五週分 金三圓
四十日分 金五圓 十週分 要用 常備用 徳用包
大阪 東京
本舗 丹平商會藥房
全國到る處の藥店に取次す



日本郵船出帆
大阪行 天津行
八月 日 正午出帆
八月 日 正午出帆
八月 日 正午出帆
ルアン ペン 電話 十番

五光商會廣告 汽船出帆
◎元山、西湖津、城津、清津行
第三 圓平丸 八月 日 元山發
◎門司、宇品、神戸、大阪行
第三 國平丸 八月 日 元山發
釜山 大池回漕部 電話二三
元山 田口 回漕店

尼崎汽船出帆 仁川出帆
群山木浦下ノ關大阪行
◎赤城丸 八月 日後四時
一心丸 八月十七日 後四時
神代丸 八月 日後四時
君か代丸 八月 日後四時
大有丸 八月 日後四時
◎印客船 二三等船客
仁川 濱杉回漕部 電話五九番

共同汽船出帆
阿波共同汽船株式會社
▲大連直行
第十二 共同丸 八月 日 正午出帆
第十一 共同丸 八月 日 午後入港
▲青島直行
第六 共同丸 八月 日 午前出帆
▲秦皇島行
第十三 共同丸 八月 日 正午出帆
朝鮮鐵道主要驛にて貨客連絡、大連にて青島行定期船接續取扱
仁川代理店 本町四丁目 電話一七三 野口商會
元山代理店 田口回漕部 電話二四七番
京城取次店 南大門 電二七六〇 八二 河村運送店

朝鮮郵船出帆
▲教賀行 清津、城津、元山經由
平安丸 八月廿三日 清津發
▲浦汐行 大阪發 門司 釜山 元山 城津 清津經由
越後丸 八月廿六日 元山發
▲雄基行 關門發 釜山各港經由
京畿丸 八月廿七日 釜山發
雄基丸 八月廿九日 元山發
▲元山雄基線 元山起點各港經由 雄基間往復
鏡城丸 八月三十日 元山發
▲大阪行 浦潮 清津 城津 元山 釜山 關門 神戸經由
越後丸 九月四日 元山發
▲關門行 雄基 清津 城津 元山 各港經由
京畿丸 九月十日 元山發
平壤丸 九月二十二日 釜山發
▲金剛山遊覽便 元山發長箭石浦經由 長箭行 八月六回 但自六月至十月間
鏡城丸 八月廿三日 元山發
▲慶尚島行 釜山發浦項及各地經由
慶興丸 八月廿四日 釜山發
釜山浦項線 釜山より浦項、方魚津
○宗信丸 ○慶會丸 熊浦經由、釜山浦項相互に毎日一回發
▲濟州島行 釜山發長承浦麗水瓦文島山
昌平丸 八月廿六日 釜山發
▲濟州島行 木浦發東廻ハ所安島經由西廻ハ楸子島經由
東廻 慶興丸 八月廿七日 木浦發
西廻 公州丸 八月廿四日
▲釜山麗水線 釜山麗水往復
釜山麗水相互ヨリ毎日一回出發
木浦麗水線 釜山行麗水ニテ接續
順天丸 八月廿八日 木浦發
▲多島海行 木浦發多島海各島行
慶興丸 八月廿二日 木浦發
▲木浦行 仁川發各地經由
晋州丸 八月 日 仁川發
▲海州行○全州丸○南陽丸
仁川海州相互ヨリ隔日一回出帆
▲鎭南浦行 仁川發各港經由
天陽丸 八月廿五日 仁川發
▲大連青島行 仁川發芝罘經由
江原丸 八月十九日 仁川發
○朝鮮鐵道及社外船ト荷客連絡ス
本社 京城南大門通（電長三三二一 三三）
釜山佐藤町 釜山支店
元山海岸通 元山出張所
仁川代理店 堀回漕部
木浦代理店 山野回漕部
京城荷客取扱店 松原運送店
京城南大門驛前 電話長一一七〇
其他各寄港地ニ荷客取扱店アリ

汽車 京城 南大門 [illegible]

京城日報

（中秋休刊）
京城太平通一丁目 發行所 合資會社京城日報社
電話番號 長六千九百二 振替京城三〇〇番

流行の勞働問題（下）

京城　白眼

博放心の强盛にして、又之に巧なるは、我邦人の長所にして、又短所とする所なるが、就中輿論に關する諸問題に到りては、總てに皮相にして之を吐き出すもの甚だ多く、殆ど消化の作用を見得ざるのみならず、甚だしきは西洋諸國の糟粕のみを喫ひ、之を最上の滋味と考へ居るものあるは、吾人の少からず遺憾とし且恥辱とする所なり。彼の一時の流行を極めたるデモクラシーの思想の如き、十分に消化して其養分を吸收するときは、決して厭ふべきの言議を構成するものにあらずと雖も、多くの主張者は、西洋諸國に於て既に排除したる極端なる個人主義、及び是に由りて導かるゝ無平等的の謬論を無上至寶と崇め、無批判に宣傳し、以て我思想界に毒素を流せること甚深なるものありしが、目下の勞働問題に就いても亦其例に洩れず、全然職能の世の中たるの實狀を現はせるは、頗る憂慮に堪へざる所なりとす。蓋し近來諸國に於て年々歳々のストライキ、殊に戰後に於る大規模の企畫に受て行はれたるもの、ために受けたる打撃は、實に非常のものにして、一代に雄視する政治家も、全く困惑し徒に彷徨しつゝあるなり。而も彼の諸邦に在りて、其の國民の多數（勞働階級も勿論其中に在り）が、長年月の間、辛うじて國家の組織と社會の秩序とを支持し得る所以のものは立憲的の訓練を經、權利の主張の堅固なる代りに、義務の觀念も亦甚だ强く、一面に同盟罷業に向つて挑戰同盟すと雖も、之が爲に社會の秩序を紊り、國家組織を破壞するの端を開くに至らざるなり。彼の露國の如きは斯の如きの訓練全く闕如せるの結果、腐爛崩潰、資本家も勞働者も共倒れの慘狀を呈し、海に目も當てられぬ姿となれり。我邦は其成立の基礎に於て、固より露國と日を同じうして談ずべからずと雖も、何をいふにも開國進取の政策を執りしより、纔に五十餘年。憲政施行の後僅々三十年に過ぎざるが故、國民の訓練未だ行屆かず、動もすれば權利の一方のみを見て義務を閑却するの傾向あり、此際に於て最も智識の低級なる勞働社會に向つて、妄りに資本家に向つて宣傳すべしと煽動するが如きことは寒心すべきことならずや。曾て或國のストライキを爲せる徒黨の一人に向ひ『汝等の要求を充たすがために、汝等の會社が倒産したる場合、汝等は如何せんとする』との質問を爲したる人ありしが、彼等は之に答へて『我等が生活のために、我等の會社の如きもの三つ四つ潰れたりとて、我れ等が關する所にあらず』と放言したりといへり。今のストライキを行ふものの心事は皆是のみ。其の會社が倒壞するも可なりといふ心は、即ち此の社會が紊亂崩潰するも可なりといふ心にして、社會の紊亂崩潰を辭せざるの心は、即ち國家の破滅をも意とせざるの心なり。此の如き危險なる傾向を有つものに向つて、薪に油を注ぐが如き、言動を敢てするものあらば、吾人は容赦なく之を亂賊の者として、適當の制裁を加ふるに躊躇せざるなり。

吾人は曾て勞働組合設立の急要なるを說きたることあり。而も是れ資本家に對する戰隊の組織、ストライキ實行の策源地たらしむるの意味にあらず、勞働者相互の修養訓練、其の生活の保障、職業の修練及び紹介等、目下の有らゆる缺點を補塡せんとするの意味に外ならず。吾人は將來の勞働問題は、主從關係の舊慣（即ち溫情主義といふもの）を唯一の據として解決すべからざるを信ず、此の良風美俗は飽まで之を保存せんことを欲すと雖も、一面には世界に澎湃せる新思潮を參酌し、之を我が國民性に同化するを努むると共に、勞働者に施すに立憲的訓練を以てするの極めて急務なるを斷言す。否らずして徒らに其の意に迎合し、放漫至極の言論を爲すが如きは、斷々彼等を毒する所以なるを知らざるべからず。

土耳其の盛衰（一）

東大文科教授　齋藤博士講演

目下來鮮中の東京帝國大學文科大學敎授文學博士齋藤清太郎氏は十五日朝鮮銀行集會所の講演會に於いて『土耳其の興亡』と題し一場の講演を試みたるが今其の要領を左に摘記し讀者の參考に供せん

私は朝鮮のことに就ては目下研究中で從つて朝鮮に關係のある話をすることは出來ない。私の演題は『土耳其の興亡』と云ふことになつて居るが、併し土耳其は未だ全く滅亡しては居ない、興亡では少し酷だと云ふ議論があれば土耳其の盛衰として宜い。又私の話は土耳其の話をして其他の國の歷史と比較したり或は又諷刺するといふ樣な意味でするのではない。

さて第十三世紀に於て成吉斯汗が蒙古北部から起つて彼の大帝國を作つた時支那の西北部に居た所の土耳其人の一部族が小亞細亞の方へ追はれて逃げて行つたが十四世紀に至り成吉斯汗帝國の分裂に乘じてこの土耳其人の一部族は酋長オスマンの下に小亞細亞アンゴラを中心として大いに興り比較的短い間に廣大なる領地を開いた。即ち小亞細亞は云ふ迄もなくシリヤ、アラビヤ、メソポタミヤから阿弗利加は埃及、チュニスを獲又海軍をも建造して巴爾幹半島に手を伸ばし十五世紀には君府を陷れ東羅馬帝國は滅びた、夫れから黑海北方露西亞の西部から匈牙利に侵入し十七世紀の初めには墺太利の維納迄押し寄せた。オスマン土耳其が斯くして隆盛になつたのは何に依るのであるか。第一には周圍の狀況を考へて見なければならない、當時歐西亞は何等統一がなく東羅馬帝國も內部が腐敗して大分衰へアラビヤや埃及等も國家的統一が出來て居らず土耳其に抵抗するだけの有力なる國が無かつた是れが彼等の勢力を膨脹せしめた消極的の理由である積極的の原因としては如何なるものがあるか申す迄もなく其の武力である、然らば土耳其軍は何故强かつたか一つは其の制度に基くのであつて大いに武功を尙び武人の昇進の途を開いて一兵卒と雖も武功に依つては國民として最上級たる何とかパシヤ即ち貴族に迄達することが出來た而も所謂一代華族制で親はパシヤでも子は夫を襲ぐと云ふ譯には行かない、勳功を立て、初めてパシヤになり得ると云ふ工合であつた、又其督敎國から取上げた子供に熱烈なる宗敎と軍事敎育とを施した所のジャニサリー軍隊は是れが强かつた日露戰爭以前露西亞兵と云へば慄い上がる程强いものと思はれたと同じ樣に非常に怖れられたものである

產米增殖問題と朝鮮（十）

黃海社長工學士　松山常次郎（寄）

而して其貯水池敷地の上に漸次周圍より冒耕し來り之を水田としてしまつた斯くの如くして得られたる水田は冒耕畓又は秘田と稱し小作人と官吏とが私腹を肥やす材料となつたのである即ち冒耕者は中央の高官と結託し相當の年貢を冒耕者より其高官に納め高官の取計らいによつて免稅地として取扱はれて來たのである斯の如き秘田は冒耕者と不正高官とに對しては正當なる水田よりも一層有利なるが故に之れを紊亂する能はざる行政の下に益々其趨勢を助長し秘田の數を增し加へた同時に朝鮮の水利設備を破壞し遂に今日の如き慨むべき荒廢の情態に陷らしめたのである

昔は朝鮮に於て灌漑設備が可なり行き屆いて居つた。朝鮮の如き寡雨乾燥の地に於ては貯水池が發達すべき筈である。古は大和朝廷にて朝鮮人を招き伽羅人池を築かしめた事がある。貯水池築造の技術については寧ろ朝鮮人の方先輩である、然るに今日日本人の指導誘掖の下に朝鮮の水利事業を復活せしめねばならぬ事になつたとは轉た今昔の感に堪へぬではないか。朝鮮は寡雨の國である。殊に乾期と雨期とに區別せらるべき所である所の如き地方の灌漑法として貯水池式によるが正法ではあるまいか。古昔朝鮮に於て貯水池の發達せるも之れが爲めであらう。而しながら從來朝鮮に於て採用せられたる灌漑法に貯水池の外に洑と稱するものがある洑とは溪流溝渠を堰き切り取入口及び水路を設けて耕地に用水を導く水利組織である總督府は併合以來各道に命じて洑の修築を奬勵し之れに補助金を與へ指導誘掖の勞を取らしめた。其の結果成績の見るべきもの甚だ多いされども是等は皆小規模のもの、みである大規模のものは未だ手がつけられてない。是等大規模の灌漑組織を完成する目的を以て水利組合令が發布せられたのである。古來朝鮮には所謂『』と云ふ慣例がある。資本家が乾畓或は畑地に水利設備を施してや

慶州鵲城に就いて（二）

木村靜雄

即ち傳說民族の山上生活は第一に敵に對する防禦、第二に飲料水の便宜、第三に食料物資の採取の便宜を選んだのであるから此の三條件は總て後の要塞建設の條件素と共に天然地物の要害を選んだことは當然とすべく此鵲城は峰巒の用を隔て、百濟の來襲に備へたことの要意を見得べきではないか、更に鵲に就つて鵲城の名稱に就き考察するに此の稱は東國史地勝覽に見ゆ又京誌の驛院にも鵲山にも見らずして單に同誌の異聞に鵲院、在府西三十里俗傳金庾信、大舉兵伐百濟、留陣于此、濟王開將軍神算患之、濟王之女謂曰、彼舞神將、我國有自勇兵器、不足憂、然請往覘之幻身爲鵲、飛人羅軍陣中、噪鳴干旗上、諸將以爲不祥、將軍以劍指之、鵲墜地化爲人、乃濟王女也、因立院以名之とあるのみにして鵲院の故地號を窺ふを得れども果して鵲城の故地なりや否やを知るを得ざるなり而して此記述は同誌金尺の異聞に列記せられて一は府西二十五里に在りとし此は三十里に在りとす現今の公定里程も慶州乾川間は三里六町にして略其の地點は記述に合ずと見ることが出來るとして大坂氏の鮮人之を鵲城と云ふことあるは其の城の固有名稱たること又は鵲院の城なる言葉の詰まりたることに論なく之を鵲城として最初の研究者たる大坂氏の稱呼に一任することは尤も便利な仕方であらう況んや鵲城なる名稱は史上の名稱にあらずして所謂俗傳なるをや唯一の新羅史たる三國史記の執

れの頁にも夫らしき似よりたる名稱もなく亦此の地方に築城の記事すら存せざるに於て到底史籍上の古城址たる能はざるものなるに於ておやである、が山林調査班が調査して周圍七百五十間壁高五尺と報じたる小田氏の談にあるのは此大坂氏の鵲城と同一か或ひは別のものか判然しないことは大坂氏は約一里と云ひ山林調査班は七百五十間即ち僅に十二町半と云ふから如何に目測と目測との差が甚だしいとは云へ三分一に目誤ることはあり得べからぬことで今一寸孰れかと明言し兼ぬるけれども恐くは同地點が新羅人の採り前に百濟通路を擁し右に高句麗路を控へ左に新羅の都城に通ずる所竟の要衝に在れば要塞のなくてならぬ地點であり孔つ而一地に二個ある例もあることゆへ結局は山林調査班の報告か大坂氏の口傳の誤りか、何れかでありつて同一城址であらねばならぬ判ずるの外はない調査に就て索引の付いて居るものとすれば一日も早く此の地點の調査を進めて頂きたいものであるして大坂氏の篤學を以て斯道に少く斯地點の踏査をせられて學界に一石を投ぜられたことは僕の尊敬措かざるものであると共に此の如き地方史家の努力を要することを朝鮮史蹟調査の將來益々緊切なることを切に望む次第である僕は慶州在任僅に二年で併も草分け時代であつて素より羅史通ではない が常に日韓上代史に興味を有する偶々僕の名前が引合に出て居たから熱いのに一言を贅した（完）

錬膽錄

正受老人（下）

三笑生

◇老人は、大事了畢の後、郡下に留まつて、法の爲めに盡さんことを託せられたが、此一切を固辭して『弟子不德、都下の院に住するに堪へず』專ら山林に隱れて、道德を養はんと欲し、ご飯遁して、信州飯山に歸り、小庵を結び、正受庵と稱して、こゝに隱居するに至つた。

◇一日、參學の居士數輩、打連れて老人を草庵に訪ひ、秘話して居つたが、夜は漆々更け渡り、外は闇黑の上にまた闇黑を塗つた如く、萬籟死して、山の夜は如何にも物凄かつた。其の內に老人は、起つて、厠に往つた。其の時居士等は、互に耳語して、一つ老僧を試して見ようぢ。其內の屈强な者を、眞かに暗い物蔭に潛ましめ、老人の出て來る所を待ち設けて、突然踊りかゝつて胸元を捉り『是什麼ぞ』と怒鳴らせた。すると老人は、安詳として、些も驚くことなく『吾も亦知らず』と答へて、スッーと方丈に歸つて往つた。

◇或る時、また村の若者共が、山から狼の子を捕つて來て家に飼つて居たのを、犬が咬み殺した。爾れからと云ふものは、狼の群が毎夜其の村へ襲ふて、恐ろしき吠聲を擧げ、墻を破り、壁を穿ちて、人の子を害することが少からず、村民は大に怖れて、毎夕まだ明るい內から戶締を嚴重にして、相戒めて居つた。其事が正受老人の耳にも這入つた。すると老人は、村民は皆家の內に慄へて居るのに、獨り日暮頃から、墓場に往き、夜の明けるまで、坐禪觀法することに七夜に及んだ。がそれから狼は出て來ないやうになつた。後に老人は、村民に向つて『老僧が、毎晩坐禪して居ると、澤山の狼が來て、老僧の咽喉笛の所を嗅いだり、鼻の尖を嘗めたり、耳の邊を吹いたり、色々な巫山戲た眞似を爲居つたよ。老僧は、七夜が間、さうして正念相續の如何を工夫して見たのぢや』と語つたさうである。

◇不意に之を殺殺せんとするも悟として驚くことなく『是れ什麼ぞ』といへば『われ亦知らず』といふ。我他、彼此の思量分別なき根本地に安住すれば、われに在る三昧われまた知らずといふ王三昧に至るであらう。我なく生なく、死なき三昧に在り切つた正人には、狂暴な野獸も、これを如何ともしなかつた是れに依つても、禪は確かに不思議な或る力だと謂はねばならぬ。

隨想錄　三百二十頁 定價壹圓廿錢 送料八錢　宇宙、人生に對する著者の靈想を收む 讀む人々に依り或は慰め或は心を與へ多樣なる諷刺を與へ 度毎に種々なる諷刺を起す　野邊地天馬著（好評三版）

偉人物語　四六判三百七十頁 定價壹圓五拾錢 送料八錢　世界的日本人二十八名 世界の青少年に無比の讀物　新渡戸稻造・櫻井鷗村 著

邦文武士道　菊判 定價壹圓廿錢 送料八錢　世界的聲價ある書!! 第十二版 模範的の譯文 文部省認定圖書　新渡戸稻造著 櫻井鷗村譯

リンコーン物語　定價壹圓ノ拾錢 送料八錢　邦文リンコーン傳中に於ける名著 世界の少年が後年自己の爲に貢獻せる人道の爲に　陳居喜九馬著（三十版）

平凡道德　補珍美本 定價參拾錢 送料四錢 百四十六頁　明日々の心得解說 平凡の裡に在ることを教へたるもの　櫻井鷗村著（四版）

英詩評釋　四六判四百頁 定價壹圓五拾錢 送料八錢　英國の名詩を評釋し 脚註は行數を附し 英文學界に新紀元を劃せる名著　內田嘉吉著（十一版）

安全第一　補珍美本 定價參拾錢 送料四錢　見よ!! 聽け!! 心せよ!! 新しき文明の新道德　野邊地天馬著（再版）

歐米の逸話　四六判 定價壹圓 送料六錢　傳へられざる珍奇なるもの多く 何れも家庭にも歡迎せらるべき如何なる人にも愛讀せらる　天外著（好評六版）

貯金道話　四六判 定價壹圓拾錢 送料六錢　致富の根本理義 文部省認定圖書　ビフファン著 山田伴讀譯

自國の義戰　菊判二〇〇頁 定價五拾錢 送料六錢　世界大戰に於ける我國の義戰

發行所　東京市麴町區三丁目　丁未出版社　振替東京七八四七

優良雛　うづら、鶏、養雞器具、藥品一切 詳細は營業案內にあり
營業案內無代進呈　東京牛込區早稻田鶴卷町　**早稻田種禽場**　農商務省西ヶ原農事試驗場御用

宮內省御用
水道 布設 煖房 裝置 衛生 設備 暖爐 喞筒 掘付 工事 設計 請負 附屬 材料 輸入 製作 販賣
TRADEMARK
須賀商會大連出張所
大連市監部通二丁目（朝鮮銀行前）
（本店）大阪（支店）東京（出張所）東京・名古屋・京都・住吉・神戶・門司・京城・青島・臺北
工作所……東京……大阪……神戶

株式會社朝鮮殖產銀行 第貳期（大正八年上半期）決算公告

貸借對照表

資產	
拂込未濟資本金	五、八〇三、〇六〇・〇〇
諸預ケ金	二、〇六二、七六三・九〇
年賦及定期貸付	一五、〇三六、〇一三・〇〇
引受債券	五〇〇、〇〇〇・〇〇
組合當座貸越證書及手形貸付	三、三三九、八二〇・四八
當座貸越	九、四〇九、一五一・一七
割引手形	七、一三二、四三三・三五
荷付爲替手形	一、七九五、二三九・八九
他店へ貸	四九九、八一三・八七
假拂金	五四二、三五一・二一
新築費	三六三、八六四・一一
所有有價證券	二九六、六五七・〇〇
營業用地所建物什器	五四三、一九三・七五
流込物件	一、三三七、三二〇・五〇
金銀有高	一、二四八、六九七・二二
合計	四九、七五一、一九〇・五〇

負債	
資本金	一〇、〇〇〇、〇〇〇・〇〇
諸積立金	六〇〇、〇〇〇・〇〇
未拂配當金	三七七、〇〇〇・〇〇
債券發行高	四、八二八、九九〇・〇〇
當座預金	五、〇〇〇、〇〇〇・〇〇
未拂債券利子	一〇、三四〇・〇〇
政府借入金	三一七、六〇〇・〇〇
諸預り金	四、四五九、九八〇・六〇
地方費	一、四五五、九九五・〇〇
諸借入金	一二、五七一、二八九・一六
朝鮮銀行代理店	六、三八七、五二四・〇三
日本勸業銀行代理店	三、五四〇、八〇三・四〇
他店ヨリ借	五、三二八・二一
本支店間未達勘定	一、六〇〇、三九六・二一
假受金	四七九、二七六・八〇
當期純益金	一二五、三八一・四〇
合計	四九、七五一、一九〇・五〇

利益金分配

當期總益金	一、三三二、五八一・六六
當期總損金	二、一九七、二〇〇・二六
差引當期純益金	一二五、三八一・四〇
政府補給金	四三三、〇〇〇・〇〇
計	五八三、三八一・四〇
此分配	
缺損補塡準備金	二九、〇〇〇・〇〇
配當平均準備金	二五、〇〇〇・〇〇
役員賞與及交際費	一、〇〇〇・〇〇
株主配當金（政府持株ヲ除キタル殘株ニ對シ年七分）	一、〇〇〇、〇〇〇・〇〇
次期繰越金	一三五、三八一・四〇

右之通ニ候也
大正八年八月一日
株式會社朝鮮殖產銀行

頭取	三島太郎
理事	有賀光豐
理事	中村光吉
理事	櫻井小一
理事 侯爵	朴泳孝

右調査ヲ遂ケ其正確ナルコトヲ認ム

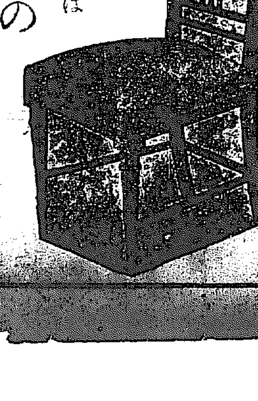
監事	廣瀨滿正
監事 男爵	李根湘

朝鮮講演集（朝鮮問題號）
朝鮮統治の改革に關する最小限度・四要求　法學博士 吉野作造
朝鮮の根性を去れ　京大教授 阿部秀助
白らの良心に歸れ　法學士 麻生久
サーベルの同化政策　早大教授 木村久一
朝鮮問題の背景としての形式主義　早大教授 內崎作三郎
雜錄　前例朝鮮に於ける日本人のデモクラシーの勃興
朝鮮は軍閥の私有物に非ず　法學博士 福田德三
一冊廿八錢 六冊一圓六十五錢
東京京橋槇町 大阪三休橋 大鐙閣　振替東京三六一八番 大阪一七二五番

正しき補血強壯增進劑
ブルトーゼ
△帝國大學病院各府縣立病院御採用▽
帝國大學醫學博士阪井齊學博士堀內ドクトル都築ドクトル實驗推獎
▲本劑は入体肝臟中に含まるゝ蛋白鉄化合物と同性同體にして容易く吸收同化せられ造血機能並に營養上に强力なる作用を呈し食慾を進め精力を盛んにす
▲本劑は貧血性諸疾患並に神經性及呼吸器系諸疾患に對し適應せる種類を用ゆれば其効最も顯著なり
▲試に說明書を見られよ本劑の成分作用藥能効用を明かにす
種類　ブルトーゼ　キナブルトーゼ　ヨードブルトーゼ　アルゼンブルトーゼ　グリセロフォスフォールブルトーゼ
各種共二五〇瓦瓶入　凡ソ中ヶ月量
說明書進呈　各地有名藥店に販賣す
發賣元　大阪道修町二丁目　東京本町四丁目　藤澤友吉商店

營業品目錄
諸雜貨、乾物、雜穀、鑵詰、酒、醬油、砂糖、味噌、石油、金物、家具、荒物、紙類、木綿、燐寸、日用品一切、セメント、コールタール其他日鮮人向日用品一切
○米穀麥豆買入
龍山令組代理店　仁川新町 津田兄弟屋本店　長電話七六二番 振替京城三八九
京城明治町二丁目 津田兄弟屋支店　電話取次六七〇番 振替京城三一八一番
黃海道黃州 津田兄弟屋出張店

熊平洋家具は
優秀との賞讃を受く
京城　熊平支店
電話長三六一一二番 振替京城一二二五四番



前京城覆審法院判事
辯護士 法學士　切山篤太郎
京城黃金町一丁目一五九番地（三井物產株式會社向側）電話長一八六九番

演藝講談界　九月號
青春の淀君　伊藤銀月
蛇形の單衣　四馬　◇怪奇懸賞かくし文助殺し　大久保　◇神妙金創膏　松林伯知
俳句 大懸賞 募集
奈智瀧祈誓文覺　怪異談牡丹燈籠
新小說 毒藥の壺　北島春石
家庭小說 紅皿　遲塚麗水
女教師の銃殺　◇寫眞小說 離れ小島　◇各座八月狂言 見たまゝ　裏表 女太平記　唐人心中　俠妓初總 山谷堀
定價十三錢　發行所 東京牛込

値上廣告
諸材料及び職工賃金暴騰致候爲め止むを得ず本月より印刷代三割値上仕り候此段謹告仕り候也
大正八年八月
京城印刷組合

簿記通信教授
寄宿通學部 自宅獨習部 男女生徒募集
本邦唯一 容易習得 成功保證 採用申込多數 目下入學好時
大阪市天神橋筋西貳丁目六一九 簿記學會

孫黒龍督軍赴任

新黒龍督軍孫烈臣氏は丁潔沈參謀長以下幕僚二十餘名を從へ十三日午後七時四十五分奉天發列車にて出發赴任せり驛には多數の見送りありたり尚鮑貴卿氏も同行せるが氏は孫督軍の秘書長たる可しと（奉天特電十四日延著）

鮑吉林督軍を訪問

黒龍江督軍孫烈臣氏赴任の途鮑吉林督軍を訪問す可く十三日來吉したり（吉林特電延著）

黒龍省長不任命

黒龍省長は中央より任命す可き意嚮なりしも孫督軍は從來の慣例に依り暫く省長を置かざる方針なるを以て發表を見合はされ度き旨電請したるより中央にては孫督軍の希望を容れ此際同省長の任命を爲さゞる事に確定せりと（奉天特電）

北方代表歡迎

南方總代表唐紹儀氏より北方代表王揖唐氏歡迎の旨北京政府に返電到著せり（北京電報）

暴利取締令通過

英國下院は暴利取締令を通過せり（倫敦電報）

反過激派軍聯絡

反過激派デニキン及びコルチャック兩軍の聯絡成れり（倫敦電報）

李王世子殿下 梨本宮御別邸御訪問

李王世子殿下には富士裾野の野外演習に御參加の途中十五日大磯なる梨本宮殿下御別邸を訪問され方子女王殿下と御歡談御物語りあり滄浪閣に伊藤梅子未亡人を訪問し久濶を叙され同夜阪橋なる鍋田男邸に御一泊十六日朝兵士と共に箱根を雨中に越して御殿場に赴かせられたり（東京特電）

長谷川前總督辭任挨拶

長谷川前朝鮮總督は十六日小田原に山縣公を又た大磯に寺内伯を訪ひ總督辭任聽許に就き一場の挨拶を爲せるが長谷川元帥は當分湘南地方に靜養の由傳へらる（東京特電）

熊崎總領事 渡米

熊崎新紐育總領事、石本男爵夫人及び廣田博士等は十六日横濱出帆の西伯利丸にて渡米せり（東京特電）

武富少將逝去

陸軍少將武富牧太郎氏は十四日逝去せり（東京特電）

裵中將の北行

孟恩遠將軍と共に來奉せる吉林方面の善後策及び第一師長問題に就き協議中なりし裵中將は用務を終り十三日午前八時奉天發北行せり（奉天特電十四日延著）

日米直通電線 急設運動

最近日米間の通信往々頻繁を加ふると共に甚だしく遲延するに至れるより日米協會にては日米間直通電線架設を國家の急務として十五日銀行倶樂部に聯合委員會を開き右に關し日米兩國官憲並に關係方面に交渉し至急之が實現を期する事となれり（東京特電）

新官制 廿日頃公布か

朝鮮總督府新官制は二十日頃公布され同時に各局長の任免ある可しと傳へらる（東京特電）

三銀組織變更

合名組織なる三菱銀行が株式組織にし五千萬圓に增資の件は十五日の總會に於て決定せり（東京電報）

尾藤司令官

尾藤司令官は梨本師團長宮殿下に着任挨拶上の爲遼陽に赴き十五日午前九時歸奉夫より旅順軍司令部及び林關東廳長官等訪問の豫定なり（奉天特電十四日延著）

膨脹國民

大隈重信侯談

然るに若し海外移住をなし得ざる民族であつたならばそれ等の民族に對して襲來するものは明ち唯に危險のみである併し乍ら吾人の活動といふ言葉は決して侵害を事とする古き外交政策に基くものではない是等は既に時代を過ぎ去つた今や吾人の口にする活動は其の國の主權國法に從ひて經濟上の活動に就て與らるべき自由の活動を拒絶するに立至たならば人類として生存上已むを得ず侵略主義を斷行するに至るであらう彼ら今日の場合に於ては敢て拒絶する土地に於て活動をなす必要はない飽迄平和的に經濟的に又生存上已むを得ざる活動をなして誤解を招く事なきに注意してゐたならば、白人を猜せる諸國に於ても我が善良なる侵略的野心なき眞意を諒解し開放するの時機も早晩來る事を信じて疑はぬ即ち現今閉鎖せる國々をして友誼的に反省せしむるものである然るに若し國家的外交的の誤解を受くるに立ち至るに於ては吾人が將來の發展上多大なる

難關を自ら釀す ものであつて此の點に於ても注意は愼重の考慮を要する然し乍ら決して國家の威嚴を犧牲にする事は出來ない即ち消極的に奴隷的の態度は絶對に出來ない飽迄紳士的に積極的に活動しなければならぬ今や世界は文明の極度に達し資本的權力を以て支配してゐた世界も勞働者の勢力勃發と共に漸次崩壞となり各國ともに不安の念は彌々と醸ひつゝある此の折から吾等大和民族の移民事業が野心なき善良なるものなる事を諒解せしむる事は實に重大なる問題でなければならぬ今回米國に於て議會に提議せられつゝある移民制限法には明ち總ての國民中より最も危險と思惟せらるゝ

民族を擧げて 移民拒絶をなさんとするものである然るに其列擧せられたる民族中に於て我が日本國民のあらざるは實に欣喜すべき事であつて斯くして聽ては明白に諒解せられん時機の到來に接する事が出來る曾て蘭領印度總督は從來日本人を蛇蝎の如く恐怖してゐたが近來に於ては漸次其態度を變更しつゝあること等も吾人として欣悅すべき事である而して吾人は百折屈せず堅忍以て最後の勝利を得べく決心しなければならぬ（完）（東京支局）

前總監留別會 盛會を極む

山縣前政務總監は近日退鮮歸東に就き豫記の如く十六日午後四時過ぎより五時半迄の間に朝鮮ホテルに於て留別接見の爲め茶話會を催せり、定刻に至るや前總監は隆子夫人遠藤秘書官と自動車に同乘してホテルに入りコンサート、ルームに於て來賓に接見し一々懇篤の挨拶あり、當日前總監は濃茶色のモーニングに雪白のチョッキと言ふ瀟洒なる服裝に何時もながらの快活なる面色にて夫人及び久水外事課長夫妻と共に迎接さる態て一同は遠藤秘書官工藤總務課長等の案内にて食堂に入り茶菓の饗應を受け三々伍々談話五時過ぎより各自解散を遂て退散したり當日の來賓は宇佐美宮軍司令官國分司法長官小原農商工部長官、閔李王職長官李完用伯等文武官貴族各國總領事領事及び英佛米露等各國總領事夫人外國宣敎師並に民間實業家新聞記者等紳士貴婦人四百餘名の多きに達せり

鮮滿片々

珍島最近人口

全羅南道珍島の最近の調査によれば全島に於ける內地人戸口は男百二十餘人女八十餘人合計二百餘人戸數七十餘戸である（木浦）

莞島巡航船中止

全羅南道莞島を基點とし青山島及び附近各島嶼との運輸交通に便せしむべく先般來莞島の有志用虎一氏が發動機船を巡航せしめて居たが附近沿海に於ける漁業の一段落を告げ貨客も著しく減じ殊に補助金の下附減額は到底收支相償はざるものあり此程に至り一先づ巡航を中止した爲め同方面は多大の不便を感じて居る（木浦）

平壤水道工事

平壤水道の配水量は平壤現在の戸口增加に伴ない最早最大限度に達したから大正八年度及び九年度の兩年度にかけ現在貯水池の二倍を增設する事に決定したが本年の計畫の掘鑿工事は工費約五萬圓で定永商吉氏の請負となり近く起工する筈である（平壤）

運賃値上協議

鎭南浦運送組合では同地商業會議所に對し本月十六日より最低二割最高十割平均五割の人夫賃値上の陳情書を提出したが其の理由とする所は昨今物價騰貴の爲め從來の賃率にては勞働者の雇入取扱ひ惡きに因ると云ふ（鎭南浦）

京元鐵道貨物

大正二年八月京元線開始以來元山驛に於ける貨物發着は年々著しく增加した即ち大正二年に於ては發送六千二百噸到著一萬六千餘噸なりしものゝ七年には發送五萬一千噸到著八萬九千噸を示すに至つた（元山）

機關銃隊歸還

騷擾の爲め會寧に派遣されて居つた步兵第三十二聯隊（山形）の機關銃隊中島中尉の率ゆる一個小隊は過般引揚の命に接し去る八日朝列車で會寧を出發し本隊に歸還した（會寧）

中江鎭守備交代

中江鎭守備の爲め屯營した第十一中隊（長崎大尉）は八月一日第八中隊（小野大尉）と交代し十三日午後一時歸營したる際頭には師團將校以下士卒多數出迎へた（平壤）

黃州苹果不作

西鮮特種物產たる黃州苹檎は開花季に際し大旱魃の爲め一時開花を妨げられ結果小形で且つ水分に乏しく衡量を減ずる甚だしく從つて相場は不作を豫想された

賃八九十錢である（南浦）

鴨江上流の旱魃

鴨綠江上流地方では本年の旱魃のため農作物は何れも枯死に瀕して居る就中玉蜀黍は降雨なき爲め花萎縮し結實熟しないので牛馬の飼料とするより他に方法がない又小豆も莖小さくて結實少いから之亦牛馬糧として刈取りを爲し大豆は播種期の小豆よりも遲かつた爲め茲十數日の中には枯死せざるも不作は免れない夫が爲め農家は畑の手入れを擲するの狀態である（安東）

元山經濟會

元山經濟會では來る二十日過ぎ例會の筈なるが協議案として左の件を附議すると云ふ（元山）

一、元山に穀物取引の現物市場設置の件
二、元山より鮮內各驛相互間往復切符の發賣を開始する樣鐵道局に出願の件

各國の食料品 管理再現

物價騰貴影響

歐米諸國は戰時中食料品の配給に多大の困難を嘗め、各國政府は食料品の管理をなすべく餘儀なくされたが講和締結前後より漸く管理を緩和若くは撤廢し、殆ど全然管理を撤廢したるに於て醜を呈せるが其後交戰諸國に於ける食料品の需要勃發と喚起し歐洲大陸に向け全世界より非常の勢ひを以て集注され同時に一般食料品は

過度の騰貴 をなし國民生活を強烈に壓迫せし爲め之が抑壓策として各國とも再び食料品の管理をなすべき機運を釀成された即ち佛國政府は食料品に關する新政策を樹て國境を開放して海陸輸入稅を全廢して物の輸入に努むると同時に佛領印度支那に於て穀物の管理を行ふに至れるが英國伊太利も同樣の政策を施行すべく餘儀なくされ比較的食料品の需給容易の狀態にある米國にありても去る四日新聞電報によれば米國議會は主要なる食料品に對し

再度の管理 をなし取引きの最高値段を公定せんとする意嚮を有してあるとの事である米國は歐洲大陸諸國と異なり食料品の供給は潤澤なるも洪水の如き勢ひを以て同國並に屬領の食料品が歐洲大陸に流出する結果遂に食料品の品拂底を釀成せんとするの情勢あるが爲め更に之が供給として東洋市場より買付けつゝある狀態なれば從つて相場も騰貴し國民の生活を脅威するに至つたのである更に倫敦新電によれば英國政府は油類の

相場を公定 して即ち精製豆油を渡一ハンドレッドウエイト（一一二封度）五磅十志、精製棉實油六磅丁度、亞麻仁油五磅半、椰子油廿五磅、椰子油粕二十五磅、棉實粕十九磅半と倫敦市場の相場よりも十志乃至二十五志安に公定したため市況頓に惡化したが本邦より歐洲に輸出せらるゝ油類は粗製油なれば直接の打撃なきも之が爲め受くる間接の打撃は蓋し多大である斯くて各國とも期せずして食料品に對し再び戰時中同樣の政策を執りつゝあるは洵に注目すべき傾向と云ふべく各國との物價の騰貴に苦しみつゝある本邦の現狀に鑑みるに足る（大阪）

波蘭對日好感

日本投資期待

波蘭官民の對日感情は益々良好にして過日波蘭東方協會設立されたるが更に又波蘭日本協會設立されたりその目的は日本の文明及び美術を研究し以て正しく日本を理解せんとするに在りて近く其の第一總會を開かむとせるが斯の如く波蘭が日本との接近を欲する

主なる理由 は第一日本國民の愛國心及び最近文明の長足的進步に感服し自國亦之に倣らはむことを企圖し第二日露戰役に對する歷史的好感情及び戰役中日本が特に自國俘虜を優遇したるを感謝し第三自國の發展上露國の秩序恢復一日も速かならんことを希望すると共に自衞上日本との提攜を必要とし第四歐米の財力的援助は何等かの野心を伴へるを以て日本より經濟的援助を得むことを希望すると共に日本公使の速派は論々兩國の關係を親密ならしむ可しと目下渡來

輸入を希望 せる物資は茶米紙魚油等にして殊に茶の輸入を最も急務とせるが同國より購入し得べきものは毛織物綿糸其他の織物等なり國內の工業は漸く緒に就けるのみにて露國と境を接せる中心地と目されたるロッヂ附近にても工場は依然休業狀態を存せるが銅器は恐く獨逸の爲めに奪はれ資金缺乏して原料の購入困難を極め五百有餘の工場中僅かに織物工場中活動を開始せるは五六に過ぎず而して其れ等の工場も平素の三分の一若しくは四分の一の機械を運轉せるに過ぎず切に日本資本家の投資を希望せる有樣なり

殖銀債券使途（下）

鮮內事業資金に充當

今殖銀の資金供給の狀態を見るに本年六月末日現在貸出總額三千八百餘萬圓にして內地事業貸付に屬するものは未だ千五百餘萬圓に過ぎず然かも今後の勸業貸出の增加額は毎月約二百萬圓見當なるべしと豫測さるゝを以て本年末までには大約一千萬圓の貸付資金を要する譯にて恰も今回の募債額に相當せり而して此の六月末現在に於ける同行の勸業貸付け即ち定期及び年賦貸付額に付き之を內鮮人別に示せば

內地人に對する貸出額 四百五十一萬餘圓
鮮人に對する貸出額 八百五十一萬餘圓

にして內地人貸付けに比し鮮人に對する貸付けの多額に上れるを認むべく其朝鮮人關係の事業に對し努力の跡は見るべきものありと謂ふべし而して同行の債券は主として內地に於て應募者を求むると自然の勢ひなれば殖產債券の發行は即ち同行の使命に鑑み朝鮮の事業殊に鮮人の事業を助成せんが爲に內地より資金を移入せんとするものに外ならざるべからず尤も同債券は必ずしも內地に限らず廣く鮮內は勿論滿洲方面に於ても募集せらるべき故に我が朝鮮に於ても資金運用の

確實を欲する 者にとりては其の利率も年七分にて發行價格も額面なりと云へば放資物としては確實有利のものと云ふを得べし

殖產債券條件

殖銀債券第二回殖券一千萬圓の發行については目下財界の關係上有賀理事東上して各方面の情況につき調査中のことなるが愈々左記の條件にて公募に付する事となり十二日附總督府の認可を得本店より正式に公表ありたり即ち左の如し

一募集總額 壹千萬圓 壹百圓、五百圓、壹千圓の三種無記名式利札附
一利率 年七分
一發行價格 額面百圓に付百圓均一
一償還方法 大正十年十一月三十日迄据置五ヶ年間に毎年六月十二月の二回抽籤に依り一回金貳拾萬圓以上適宜金額を定め償還す
一利子支拂方法 毎年六月一日及十二月一日前六ヶ月分を支拂ふ但六ヶ月に滿たざるものは日割を以て計算す
一申込期間 八月二十五日より八月卅日迄但募集總額に達したるときは何日にても締切ることあるべし
一證據金 額面百圓に付金參圓
一募入方法 應募超過の場合に於ける募入方法は當行に於て適宜之を定む
一拂込期限 十月五日迄
一取扱 は殖銀本支店並に朝鮮各地に於ける鮮銀商銀一銀十八百卅漢銀韓一京銀各本支店なり

吉林金融狀況

動員と財況

鮮銀吉林支行調査に依る客月吉林金融狀況を聞くに前月中旬以降愈々盛期に入りたる木材界は當月に入り益々殷賑を持續し當業者緊張迄日々十四車を發して南滿

各地建築界 旺盛を極め候つて當業者の活動目覺しきものありしが本年は稀に炎暑熾烈にして降雨なく江水漸次枯渇し中途既に著筏全く不能の狀を現出するに至り恰も出鼻を挫がれたるの感あり隨て手持筋は目先の高値を豫想し容易に手放さず然價强含みを示せり然るに一方吉奉兩省の確執は本月に入りて遂に吉省兵の動員となり並いて軍需品輸送として馬車の徵發は木材派出奧地交通に著しく支障を與へ人心の動亂甚だしく吉林票の暴落を招き當行預金茲に保護預りの增加を來し商況不振の極に達し一時恐慌の狀あるなきやを懸念せられし七月末に至り時局圓滿解決の報により市民漸く安堵の色をなしたるも未だ全く

復活の時期 に至らず一般經濟界裡に經過せり商況叙上の如くなるを以て木材に對する買付資金として朝鮮及び荷爲替十一萬圓に達し木材資金と認むべき當店拂出四十五萬圓の巨額に達せるも輸入方面は全く沈衰の極を告げ金融概して小緊の狀を以て越月せり次に當月中吉省通過の狀況を見るに月初二百二十九元を以て初まりたる小洋錢は吉奉時局の紛糾に伴ひ次第に下落し中旬二百四十八元に落ち二十八日は實に二百五十五元なる未曾有の現相場を示したりしが月末に至り

時局解決の 報により一氣に低ね二百四十五元と稱へ目先强含みの狀を示せり官帖相場は本月初三十吊文より漸落十五日三十四吊文に落込み目先の成行を懸念せられたるも是又時局の關係上漸次反撥し月末卅三吊文を呼び强含みの姿を示せり

仁川期米暴落

降雨安

十六日後場の仁川期米は天候漸次雨模樣となり若干の雨足を見たるより人氣惡化して軟派の活動あり四十四丁大下放れの四十三圓四十錢と寄附き賣物に二十錢と慘落して數日前の高値に比し百三十丁の大暴落を演ぜしが大阪高の入電に九十錢と撥ね返し結局八十五錢と大波瀾の裡に引けたり此際雨を見ば目先尙暴落を免れざらん

朝鮮金價區々

內地の金價は最近匁五圓七錢所に久しく膠著し居れるが朝鮮にては金價の激落以來產金減じ且つ出廻り多からず旁區々の唱へにて實際の取引は五圓二十錢を附けるものもあり朝鮮の金價平調は吾國の金輸出制限を解除せらるゝまで止むを得ず引續くべしと

資金需要依然

各銀行貸出金利引上は何れも漸次實行せしが一般財界は何程ら影響を受けざる如く依然として資金の需要は旺盛の狀にて各行共に新規貸出しは成るべく手控へんとする傾向あり從つて金利は目先尙緊縮傾向にある如しと

關釜連絡杜絶

十六日夜釜山出港の豫定なりし高麗丸は海上風浪高き爲め何時出港するや未だ見込立たず（十六日夜發釜山特電）

京畿蠶檢手數料

京畿道蠶業令施行に依り京畿道蠶種檢査手數料は十五日第六號を以て發布されたるが全文左の如し

第一條 朝鮮蠶業令施行規則第十五條に依る檢査手數料は納入告知書に依り京畿道金庫若は道收入官吏に納付すべし
第二條 前條に依り納付したる檢査手數料の領收證は之を蠶業取締所長に提示すべし
第三條 自己の便宜に依り檢査を受けざる時は既納の檢査手數料は之を還付せず
本令は發布の日より之を施行す

殖銀相談役會

朝鮮殖產銀行にては十六日午後零時半より朝鮮ホテルに相談役會を開會銀行よりは中村櫻井の兩理事その他の幹部出席同行業務殊に貯蓄部の開始債券の發行その他に就き協議したり

猪伏會社認可

平野甚太郎外二名よりの出願に係る猪伏合名會社設立の件は八月十五日附け許可の指令ありたるが同社は本店を元山府に置き資本金一萬五千圓を以て淸酒其他の製造を營むものなりと

人事消息

○三島殖銀頭取招宴 殖銀頭取三島太郎氏は來る十九日午後七時より京城新聞通信記者の主なる者を千代本に招待張宴する由
▲頭本元貞氏（代議士） 十六日元山發京城に向へり（元山特電）
▲北村淸澄氏（新任平北警務部附警視） 十七日馬山發赴任の筈（馬山特電）
▲工藤英一氏（平安南道長官） 十六日入城天眞樓へ
▲武井宗十郎氏（平北古川鑛業所長） 十六日入城京城ホテルへ

鳥瞰錄

日本では政府の關係官吏以外に講和條約なるものは新聞電報の外目に觸れることすら叶はなかつた▲イヤまだ何の樣なものか國民は存ぜぬ今知つて居ると云ふのは恐らく新聞電報の傳へた丈けの限度であらう▲處が英國邊では倫敦タイムスなどは既に六月二十八日に講和條約の正文謄寫を附錄として發行して居る▲而も其れが地圖附きで十ページ大のものだから驚く▲だから日本國民は十月華盛頓に開會さる、國際勞働會議の議案は何の樣なものやら準備委員會の權限なども新聞電報で大體の消息を窺知するより他にない▲國際勞働規約の如き國民をして一日も早く之を周知せしめた方が自他の誤解を掃ふ事が出來▲且つ又華盛頓會議に對する國民的の要望が奈邊に存するかを表明するの便宜にもなる譯だ▲ニューファンドランド島のセントジヨンス港は世界最大の鱈漁場である事が太平洋橫斷飛行で知られて來た▲朝鮮なども多島海方面に巨多の寶庫を有する未知の島嶼があるが遺憾乍ら未だ著目されて居らぬ▲と云ふのは一時的の氣勢に煽られて一攫千金をなさんとする者多くて確實な方に注目する者が少いからだらう▲だから知らず〳〵の間に海上の利益は皆內地に奪はれて居る阿呆らしい形だ

暴風雨襲來

十六日朝來下關京城線も不通となれり釜山地方は［illegible］

東京期米特產

［illegible］

東京株式

［illegible］

東京現株

［illegible］

自動車

開設東洋第一番の本校卒業生は海外迄も活躍す 運轉手技能並に修理手技能の養成 毎月受業開始 其他技術科設計科及成功責任校外生募集 校則送呈
東京京橋 東京自動車學校
大阪市岡町 大阪自動車學校
福岡市中島町 福岡自動車講習所

公示催告

京畿道仁川府本町一丁目三番地 申立人 慶田利吉
一、證壹通、番號一番、發行年月日大正七年十月二十七日、發行人日本郵船株式會社京城支店［illegible］荷送人王子製紙株式會社、荷受人朝鮮製紙株式會社［illegible］
右證書ニ付前記申立人ヨリ公示催告ノ申立アリタルニ依リ其所持人ハ大正九年三月十日午前十時迄ニ當裁判所ヘ權利ヲ屆出テ且ツ其證書ヲ提出スヘシ若シ右期日迄ニ屆出及提出ヲ爲サヽルトキハ其ノ證書ノ失效ヲ宣言セラルヘシ
大正八年八月十三日
京城地方法院仁川支廳

林產物拂下公告

誤謬訂正

八月八日附を以て十三日十五日京城日報紙上に掲載せる事項中此の契約は『朝鮮總督府忠淸北道長官張憲植』之を『朝鮮總督伯爵長谷川好道』と訂正す
忠淸北道廳

京日案內

普通 一回前金七十錢 番外 一回前金二十錢增
▲申込後中途掲載中止は料金不返戻 ▲六回以上の申込は特に割引の事 ▲照會は返信附に非ざれば回答せず

古本熱心高價買入 ▲御報參上 是非御試を乞ふ ▲本町二丁目 電話三一九五番 ▲博文堂

寫眞見習生募集

滿洲長春 藤阪寫眞舘

女中入用

素人でも 希望者來談あれ
南山町二 松園

帳簿係募集

簿記に心得アル卅歳以下ノモノ
京城南米倉町 齋藤久太郎出張所

利益多大

發賣後益々有望ノ專賣特許品 一手販賣特約店ヲ募集ス 希望者ハ京城電話二四四七番ヘ照會アレ

店員募集

年齢十七歳以上小學程度 二十五歳以上中學程度 名 自筆履歷書携帶本人來談
太平通二 電二八九 谷敬介商店

小使入用

內地人 希望者は本人來談あれ 市內に保證人を要す
京城旭町一丁目二八 大日本麥酒會社京城出張所

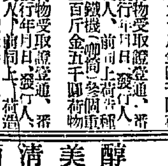
卵形無煙煉炭

本炭の半額であり頗る經濟な 卵形無煙煉炭 用途火鉢用炊事煖爐用 定價一箱（凡四百個入）金壹圓參拾錢
石炭代用として他に比類なき頗る經濟な ピッチ入 卵形無煙煉炭 燃燒時間拾時間一定の高熱を保つ
撫順炭、內地炭、平壤無煙炭、卵形無煙煉炭、安州炭
朝鮮無煙炭株式會社 京城特約販賣所 京城太平通二丁目 電話七二七番
倉庫 南大門支店用 電話一四〇七番
西崎商會

試驗問題集

日鮮 文官普通 判任見習 雇員巡査 試驗問題集 法制研究會編
■菊半形紙數三百二十頁 ◆定價金五十錢 ◆送料四錢
本書は朝鮮に於ける日鮮人の各官廳の應試者の爲めに大正元年以降最近に至る迄の前記登用試驗問題を蒐集し多數の應試希望者をして試驗の槪況及程度を知らしめ必勝の幸福を與へんと欲して編纂せるもの應試者諸氏●此書を通讀して其適否を研究せらるれば得る所尠少にあらざるべしと信ず
賣捌元 京城大平通 京城日報代理部 振替京城三〇〇番

醇美清酒



發賣元 大塚合名會社 京城支店
京城明治町二丁目 電話四〇二番 振替京城五七〇番
◇提品附壹升瓶賣出し
●到る處酒店雜貨店に販賣せり
●滿鮮支店所在地 釜山、平壤、安東縣、大連

口演

不肖好美團一行滿鮮巡業之處主タル御當地壽座ハ最早改築之爲メ開演相成難ク空敷通過引揚ゲト失望之處御愛劇家樣ノ御盡力ニ依リ道具萬端新調仕リ來ル十八日ヨリ同座ニ於テ花々敷開演仕候ニ付何卒一度御觀覽之榮ヲ賜ハラン事ヲ
壹週間限り 好美團一行敬白
初日藝題 於 壽座
小島孤舟氏作『光子』全七場
入場料 特等 金壹圓 壹等 金七拾錢 貳等 金五拾錢 三等 金三拾錢

岩田鞄店

平和の旅行には特製鞄 平和の旅行には東京製鞄

卸商 初 岩田鞄店

漢城銀行

資本金參百萬圓（明治三十六年設立）
當銀行ハ預金、貸金、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候
京城南大門通一丁目十四番地 株式會社 漢城銀行
頭取 男爵 李允用
專務取締役 韓相龍
支配人 石鎭衡
支店所在地 水原、平壤、大田、開城、東萊
出張所所在地 ［illegible］

……九州及中國方面電信電話不通又は不良の箇所多し

……十四日來の强風で京城は埃の街に……午から大暴風となり元山地方……

洗濯

無秩序な哈爾賓
驛内は停滯列車で一杯
旅客は車內に宿泊する
評判の良い我軍隊

本社長春特電は東淸鐵道罷業勃發から札蘭屯驛で列車通過の大擾を惹起した事を報じて居るが最近の哈爾賓事情に就いて

一高旅行隊 員の某氏は語る『哈爾賓は無政府狀態は御紙にも出て居ましたが實際筆舌に盡されません然し世間は幾分誇……よいのですが夜になると最う醉……いもので毎夜銃聲を聞く事は珍らしくありません更に露人の騷……で商業經濟の方面は滅茶々々です何しろ東淸鐵道罷業で列車は全部ハルビンに停滯し旅客は旅舍がないので恐べて

列車內で生活 してゐますあの廣い驛構內は列車が一杯で其列車には下等の臭い支那苦力や其他が宿泊してゐるのです鮮便垂流しの支那式ですから尾籠此上もなく蠅が眞黑にたかつてゐて目も當てられません其上に馬賊襲來の流言や孟三二將軍間の爭鬪なぞで血腥さい騷ぎばかりですから毎日不安な生活を續けて來ました此中にあつて

我軍隊だけ は整然たるもので評判も非常によく地方官民の氣受けもよいので我々も御陰で肩身が廣かつた次第です夫に苦るしかつたのは炎熱燒くが如き北滿に飲料水が極めて乏しい事です之は我々日本人には到底堪へられません、夫で土地の人達は勿論旅客も湯を大切にする事は一方ではありませんごんな小停車場でも大きな釜に湯を沸かし湯の欲しい人は其釜の前に一列に並んで

順々に水筒 や其他へ湯を入れるのですが其一滴すら無駄にしないのです實際に身體が大切なので自然と此習慣が出來たのでせう、列車が全く不定期ですから今の北滿西伯利は旅行するのに非常に不便です』

高士儐の長春落ち
日本服に身を扮して
夜半臨時列車にて南下す

孟老將軍を擁けて討張軍を起し自ら總司令官として將に乾坤一擲の大事を決行せんとせし快男子高士儐も時に利あらず

多數の密偵 に身邊を窺はるゝ危險なる裡を高峻峰と共に安全地に向け長春を脫出したるが其方法は秘密に最も用意周到に行はれたるものにて其筋の保護の下に附屬地支那客棧福順棧の別宅に潜在し居たる家族八名及び從者三名は十一日夜十一時出發の普通列車にて密に大連に出發せしめたるが該列車が發車せる後暫くにして今迄煌々と輝き居たる長春驛正面入口の

電燈を始め 二等待合室、構內食堂より驛前の警官詰所に至る迄一齊に消燈され同時に南方より荷車にて來れる數十個の手荷物及びトランクは提灯を手にせる二三驛員監視の下に暗中を助役室に通ずる一等待合室に運び込まれ之れの終ると共に再び全部の電燈は常の如く點火されたるが一方保護の爲め來りたる某々氏等數名にて驛長と打合せをなし時に七百五十圓を以て準備されある一等客車一輛に機關車を附したるのみの臨時特別列車へ順次

荷物は搬入 され高士儐は總數名の護衛從者と共に日本服に身を扮して乘込み保護の任に當りたる某々氏の見送りを受けたるのみにて寂しき夜の十二時を以て最も感慨深き長春を後に南にするに至りたるが雄圖空しく消ゆる亡命の身となりし夜の高士儐の胸中や果して如何なりしか

馬賊季節
高粱繁茂せる

大小の馬賊が盛んに 橫行する北滿の滿洲

去る二日から法庫門方面に或る調查要務を帶びて出向いた納谷滿鐵務省技師は此程某奉天領事館に入りたるが其の談話の一節に曰く、

當節は馬賊 のシーズンだと云ふ事は十分覺悟して行きましたが是れ程だらうとは思ひませんでした高粱も丈が高くなり且つ奉吉間の風雲が急と云ふので警備の程度も若干手薄になつて居り夢馬賊の橫行するに都合がよく出來て居たものだから盛んに附近を跋扈して居りました。溫山と云ふ處が何でも本據で此處には三四十名の馬賊が居つて時々

法庫門方面 を襲ひ其につれて急造馬賊とも稱すべき附近の善からぬ輩が馬賊の眞似をやつて旅人を脅かす等は殆んど毎日と云ふ有樣でありました私共一行日本人三名が到着するや否や馬賊が今日は襲ふだらう明日は夜襲するだらうと云ふ噂が立ち護衛の爲めについて來て異れ

支那巡警共 の恐がり方は一方ではなく見たいと思ふ處へも頑張りついて來て異れないそんな事では目的は達せられないから恐ろしくば隨いて來ないでも宜しいと云へばそれでは私共の責任が濟まないと云ふて澁々隨いて來る、それと云ふのも此事が上官へ傳へられると早速お首になるものだから已を得ず隨いて來ると云ふ始末で詰り出る事も出來ねば這入る事も出來ないのでした。だから

高粱の刈取 られた頃を期して今一度此の方面から鐵嶺西安邪家店方面へ行つて見る積りであります、其の間遂に本溪湖附近から遼陽方面へ出張して見たいと思つて居ますが此の方面も近來馬賊が出沒すると云ふのだから果して目的が達せられるか如何だかと心配して居る次第です」

臨海日記

樂しい第一日
元山の初印象

臨時教員養成所 一女生

頭さしのべて見上る峰々皆にこ木の奇勝、木の綠はうつくしたり、溪川の岩にせかれて瀧となり碎けて飛沫となり或は淵となりて淸水の流れたわず、全く奇趣を展開したやうに感じられたこの自然の風致は神秘の深さならでは出來まじと思ひ喜ぶ中に列車は汽笛を鳴らして隧道に入つ

○又奇勝、トンネル…トンネル又奇勝出ではくゞる暗がりも時に取つての趣である。高山峰もすぎ去つて龍池驛に着し草を枕として登攀する農夫ののびやかなるを見る。

汽車の釋王寺に著いたときは他日の參拜を豫期して淋しかつた、此の驛は他の驛と異なり遊覽客の乘り下り繁き所だけに、淸楚な構へであるやうに見た。

『もう四ツ目の驛が元山です』この聲に皆々我にかへつた、午睡の夢の醒めやらぬ眼にてあたりを見まはす樣のおかしさ、滑稽な容も我が振り知らぬ目にはおかしかりし。

『もう廿分で元山着です』と三宅先生より注意あり、一同は頭髮をかき上げ袴をなほし或は手荷物を整へなどしそれぐの身仕度をなし、どよめきはじめた又誰か聲あり『海が……』『あゝ青い海、青い海が……』と叫ぶ。我等は胸をとゞろかした、汽車は海岸近く迂廻して走つて居る、海は我等を歡迎するやうにも思はれた、白帆片帆の浮ぶ樣かはいらし、海水浴場や思ひ思ひに浴する兒女の樣美しく、汀に浴する兒女の遠くに眺め得る中に列車はゆるやかな元山驛のプラットホームに着く時に午後二時……

水道の水が殖ゑた
尙濫費を愼め

二三日涼しかつたので十二日の酷暑で京城水道も一時に危殆に瀕し、我間斷水も仕兼まじき水不足であつたが十四日からの氣温低下で何うやら依然なしか即ち十三日の午後九時には

配水池に一尺 たか水がなかつたのが十五日午前には……後三尺となり十六日朝には十二尺五寸の水深を得るに至つたのである十三日に水道係りが市內を巡視した所が……の暑さの爲め市民の水の使用……巡視中の吏員も小言に困つた由である或る所では共用栓の水を出し放しにして一人の男が頭から水を浴びてゐた……員は

飲料水の不足 を告げてゐる今日だから今少し節約して欲しいと小言を並べると水を浴びてゐた男が斷うしたければ……

水道の出し放し ……水道係り……出し放しをやられると……水管で京城全市に水を送るのは素晴らしいものです二十時間……

全京城軍破る
早大對全京城軍の第一回戰
第二回は十七日午前九時より

朝鮮に遠征の早大軍對全京城軍の第一回戰たる十六日は

朝來の疾風 で試合開始さへも危ぶまれた程であつたが早大軍は朝の九時頃から旅宿から出で今日の戰場である三井コートで猛烈な練習を開始した後に光州にコーチしてゐた三上竹下二氏も十六日入城し茲に早大軍は全部勢揃みに終つたのである京城軍は……戰に充分腕を磨いてゐる此日疾風であつたが白楊の高い蕭立ちに圍まれた明治町三井物產コートは幸ひ風が左程當らず、

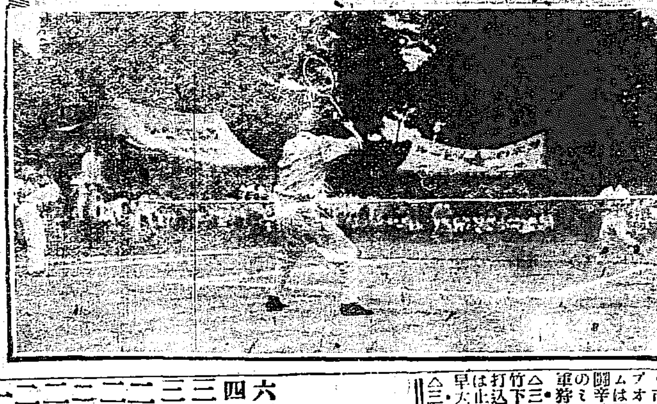
戰ふに差支 は毫かつた京城軍は正午過ぎからコートで猛烈な練習を始めた觀衆は刻一刻と集まり二時頃には立錐の餘地もない高野協會副會長が早くからコートに來て何かと斡旋し觀覧席は人で溢れてゐる早大軍は一應午前中の練習を切上げ旅館で中食を取つたが午後二時京城部旗を捧げて儼然高らかに入場して來た觀衆の喝采は盛んな

拍手の裡に 攢手席に入、兩軍入場れて試合前の練習に移つた三時兩軍選手の挨拶かはり、ルールの協定があつて試合に入つたは時に三時七分井非北羅本間審判愼重の中に試合は開始された（試合の經過は別欄參照）

早大軍 京城軍

○盛田佐藤三……一矢野井田
○石川野波一……三鮫島永野◎
○河合郡司二……三諸岡大前○
◎狩野市野三……一中川內藤
◎三上竹下三……○池原立見
○高野水野一……三岡部森
○樹下上田三……○鮫島永野

第二回戰は 十七日午前九時より十六日通り三井物產コートで舉行される筈、京城軍の陣容には幾分の變更があるやも知れぬ兎も角再び今戰の意味に於て全京城軍が出勤敵と如何に戰ふか第二回戰は將に兩軍の決戰であるから十六日以上の緊張した試合に進ぶであるまい



早大對全京城軍庭球戰（上圖）は將に戰はんとする兩軍主將向つて右は京城軍岡部主將 左は早大軍上田主將（下圖）は早京第一回戰

試合の經過
早大對全京城戰

△盛田佐藤組對矢野井田組 京城軍矢野井田組サーブ愼重に戰は始まつて一球々々靜かに打たれたコートを取卷く嵯の如き觀衆か片唾を飲み息を凝らした前衛矢野が當りデュースの後二つの打込でゲームは矢野組が勝つたサイドを更へてから井田の垣を越したスマッシングは近來ひレコードであろうゲーム一對一で暫く接戰をやつたが矢張り立て、遂に三對一で早大軍の勝

△盛田佐藤組對鮫島永野組 稍々段違ひの觀があつた鮫島當らず一ゲームは取れたが奮戰大いに努め續けて二ゲームを取つたので京城側の拍手盛んに起つた早大軍ももの よく戰つてゲームは二對二となりヂュースを繰返し接戰數刻早大軍當らず鮫島當り出し盛田を惱し遂に三對二で京城軍鮫島組勝つたのは大……大軍振はず遂に三對一で京城軍の勝鮫島組優退す

△河合郡司組對諸岡大前組 諸岡大前よく打つて敵を脅迫し一ゲームは勝つたが早大軍も一ゲームを取り一對一となつたが京城軍は優勢で味を持ちながら二對二となり郡のフシーブアウトで遂に早大軍三對二で敗ぶれた

△狩野市野組對諸岡大前組 早大軍優勢京城軍ミス多く忽ち一ゲームは零敗した市野の打込みは實に見事で京城軍手の出しようがなく三對零で早大軍狩野組の勝

△狩野市野組對中川內藤組 市野の當りが善い上に狩野もよく打つので中川內藤も殆んご翻弄され屢々適砦に肉迫しても効なく市野のスマッシング、バックブオレー見事に定まつて二ゲームは早大軍が勝つたが中川の善鬪辛くも一ゲームを得たが內藤のミスが目立つて三對一で早大軍狩野組捷つて優退す

△三上竹下組對池原立見 三上竹下の當り素晴しく立見立派な打込みを三度見せたが力量の差は止を得ない零敗の悲運に陷り早大軍捷つた

△三上竹下組對奥田若泉組 三上竹下ミスしたので第一ゲームは三對零で奥田組勝てるたが徒らに機會を逸し反對に再々と攻寄られ若泉の打込アウトで三對零で早大軍勝ち三上竹下組優退す

△高橋水野組對岡部森組 京城軍主將岡部森組は猛然と起つたが當りが惡く一ゲームは早大軍の捷となつたが早大軍前衛水野當らぬのでゲームは一對一となつたが森の打込は殆んどミスなのに岡部のネットが多いので三對一で岡部森組破れた見よ京城軍、將は何等腕を揮ふの暇なく一蹴されたのは遺憾であつた

△高野水野組對鮫島永野組 早大軍堅くなつたかの觀があつて一ゲームは京城軍が勝つた鮫島永野油が乘つて來て敵を急追して遂に零敗を以つて京城軍鮫島組勝つ

△樹下上田組對鮫島永野組 愈々早大軍の主將樹下上田組が出た若い鮫島永野の敵ではない然し京城軍健氣にも奮鬪しカウント二對三で急迫すると京城側の彌次大喜びデュースを繰返し得たいは喜れしかつたが結局ヴレーに〃は一同が魅せられてしまふが極く稀にミスすると彌次が大喜び場內割れる程の大喝采力量の差は止を得ない三對零で早大軍勝ち早大軍は優退三組の大捷であつた時に六時四十分兩軍は互にフレーフレーを三唱した早大軍の校歌が高かに萬壽の裡に消えて行つた

各地最高溫度
十六日午後二時測定

群山	八十三度
木浦	七十三度、北風に雨
馬山	八十七度、朝來暴風
元山	六十七度三分、風强
大邱	七十五度、朝來降雨
大田	七十七度、正午より雨降る
鳥致院	八十度、雨
川	七十二度 雨に風

應慶軍勝つ
慶應對旅順工科學堂野球競技會は十四日大連西公園に開催一對九にて慶應の勝に歸したり（大連特電）

安東方面の新患者
十二日又發生
安東縣には其後發病者無きも安奉沿線草河口鐵道附屬地の雜貨商金殿奎の妻張吏氏（三〇）は十二日午後疑似虎列拉に罹り尙既に十一日發生の患者は眞正虎列拉と判明せり（安東特電十四日着）

演藝
…◆…『神の娘』好評 喜樂館上演中の神秘劇『神の娘』は滿都愛活家の人氣を喚び初日以來大入滿員なり

好美團乘込 十八日より喜樂座に出演すべき新派劇美團一行は本日乘込みの筈、初日の藝題は既報の如く小島孤舟氏作『光子』七場にして重なる配役は次の如し▲久保健三（谷田中島）▲悪漢鍵松（外山進平）▲女醫相技（中村が久め）▲妓桃子代（矢○酒井忠俊）▲早川刑事（島村久與）▲女優東花子（神尾志尼）▲看護婦西田信子宮子（熊谷喜一郎）入場料特等壹圓二十錢壹等七拾錢五拾錢參等三拾錢

▲浪花節 十六日より京城……社郡の一行にて開演中

虎疫猖獗の餘
……通運斷せられたり（安東特電）

避暑地投票
第二十五回發表

六三五三票	金剛山
四七六三票	水安堡
三九六七票	東萊
三二八四票	馬山
二九三三票	海雲臺
二八七六票	元山
二五二七票	釋王寺
二二八〇票	儒城
二一〇二票	正方山
一三七二票	仁川

六百十五票 水原
五百七十六票 [illegible]
四百三十九票 [illegible]
三百六十六票 [illegible]
二百四十一票 [illegible]
百四十六票 [illegible]
百〇五票 [illegible]

（二百票以下）釜山郡五山里公園、甲、內藏山、劍拂浪、公州、光州、平壤、逍遙山、九味浦、夢金浦、密陽、松島、南原、淸津、全州、慶北周王山、淸道、藥水灘、開城、原天山、平康、古群山、頭龍、三非邑七寶山、洞泰湖、咸北朱乙

赤玉 胃腸病豫防 固腸丸 松本順 鮮滿無量の特約店に販賣す

事實不知火は在來の石油厨爐の如く不便な物でなく旅行や不時の來客其他火急の場合等御座敷の上で即時に湯も沸き御施走もの出來而も便利で便利なる事世既に定評あり是非御試用を乞ふ
定價 家庭用 旅行用 同二號 同三號 小包料 乳器付
京城日報社代理部 振替京城三〇〇番

卸問屋 釜山 高華堂 小賣
大阪屋號 京城本町一丁目 電話 振替京城

最新刊 勞働問題 三宅堂
鮮譯國語大辭典
死の蔭に

毛を黑く長くつやを出し 赤毛くせ毛ぬけ毛折毛を防ぐ事妙 本椿香油 本舖 大阪西横堀 三宅堂

胃病には ホシ胃腸藥
主効 消化不良 食もたれ 溜飲吐瀉 飲過食過 胃腸カタル 悪醉宿醉 悪心嘔痞
定價 廿錢 五十錢 一圓
東京 星製藥株式會社

最上醬油 朝鮮仁川港 高杉醬油醸造場

にせ物あり 有田ドラッグ 大阪 有田ドラッグ 京城黃金町三丁目 釜山 元山 平壤 仁川 大連 朝鮮のにせ物 東京日本橋通四 大阪心齋橋筋

寄付 引け 大株 新 高 …… [illegible]

みだれ咲き

第百二十回　島田碧波作　森田久畫

川卯旅館の玄關先に出宮を送り出して來た子爵夫人艶子は自分達の部屋を出て此處へ來つまゝ沈默を續けて居た、後を振り返つた出宮に對し、深い意味の籠つた微笑を投げたのみで沈默を續けて居た。けれども今しも別れようとする出宮が意外千萬なことを口にしても別段驚いた樣子も無かつた。

『承知しましたわ、私の方は豫定のプログラムを進んで行きますから貴郎樣も充分お氣を付けあそばして』

低聲で囁いた艶子の言葉は僅か是れだけであつた。

『承知しました、貴女も拔かりの無いやうに頼みますぜ』

出宮は是だけの言葉を殘して川卯を出て行つてしまつた。

『矢ッ張り出宮さんは策士だわね』

艶子夫人は我れにも聽く獨語するこ、其儘奧へ引き返してしまつた。

『兄さんは相變らず氣が短いな、今も此處へ急ぐとは云つて居たが此處へ著いて話が極まると直に歸京するとは驚いたなア』

何にも知らぬ子爵は、出宮が邸家のために斯うした態度を執つて呉れるのが非常に嬉しいやうであつた。

『本當で御座いますね、然し番町樣は、二人の子供の爲めにあのやうに御心配をなさつて下さるのこゝは仇や疎かには思ひませんです』

艶子夫人は心から出宮の行爲を喜ぶやうであつた、と同時にホロ〳〵と淚して藤村侯爵の方へ面を向け。

『お父樣、私は今日になつて始めて後妻なぞになるものでは無いことを切實に感じました、あの當時御前樣のお優しいお言葉を力草として山中家の人とはなりましたが、先の奧樣のお子さん達は私を繼母扱ひにされて、丸で針の莚に坐つて居るやうな思ひを致して居りますのに、今度はまたお二人とも……』

懲と後の言葉を續けずに淚に咽んだ、すると一々夫に首肯いた侯爵は。

『艶子、モウさう云ふことを云つて呉れるな、子爵だつてお前の眞心は知つて居られるに違ひ無いから』

自分の膝の上へ身を投げ出した艶子に對し、藤村侯爵は丸で甘へる子供をなだめすかすやうに云つた。

『御前樣ばかり御承知下さつても肝腎の世間の口が五月蠅うございます、ですから私は一層のこと御前樣に是れまでの御緣と諦めて頂いて私が一生淋しい月日を送らうかと思ひます』

『バ……馬鹿なことを云ふものでは無い、お前が山中家へ嫁ぐ時に俺が云ひ聽かせたことはモウ忘れたのか』

親子の談話を手持不沙汰で聽いて居る子爵、夫れを尻目に掛けながら我が娘を叱咤する藤村侯爵の聲は大きかつた。

『忘れねばこそ斯うしたことを申し上げるのですわ』

艶子夫人は啜り泣きを止めぬ。

『私が御前樣を諦めて邸へ歸つたことが判れば、何處かに隱れて居る二人の子供だつて必ず出て參ります、ですからどうぞさう云ふことになさつて下さいまし』

『成程、さう云はれゝば操子さんも龍雄さんもお前が邪魔らしい風が見ゑたな』

藤村侯爵は子爵の面をヂロリと眺め、双の腕を拱みながら深い考へに沈んだ。

『艶子、お前は義理ある二人の子達と同棲するのが辛いなら二人を居させたら宜いだらう』

艶子夫人の色香に迷つて居る侯爵はどうやら夫人の術中に陷りさうであつた。

早く植込む球根　早春に花が咲く　アチモネや水仙

翌春に花を見る球根類は大抵十月頃植込んで差支ないが、之を早植にする方が花も早く咲くし効果も良いのはアネモネ水仙の種類である

アネモネ　春植にすると今が花期であるか、例年七月に入ると最う秋植の球を賣出すので、手廻しの好い人は早く求めて早く植ゑ春から花を見ようと心懸ける

喇叭水仙　口紅水仙、八重水仙なども半陰の地は早植の方が成績が好いので成るべく早く植込む、而すると秋までには根を十分に下して寒くなる頃盛勢よく葉が出て來る

クロカス　泊夫藍なども今植込んでおくと十月頃から鉢植は極小形の竹籠などに水苔を以て植付けておくと能く花が開く

米の代用たるべき馬鈴薯は普通三月頃植て六月頃收入れるのであるが、更に其球を八月一杯までに植付けると十月乃至十一月に第二回の收穫がある、但し夏植は春植に比し收量は甚だ多からぬである

傳書鳩拂下　佛國種の雛　千餘羽をば

八日の官報で陸軍の傳書鳩拂下が公布されたこれは過般佛國から輸入し中野電信隊内に飼育した千餘羽の生んだ千餘羽の雛鳩を拂下るので其價格は時價を標準として

一羽五圓　としてある本邦の優良種としては決して高價ではないといふ事である拂下を受くるものは組合でも個人でも構はないが戰時若くば事變に際して時價を以て政府の買上に應ずること政府に於て鳩小舍及び鳩の調査を行はんとする時には其要求に應ずる事、拂下を受けた鳩の斃死又は失踪せる場合には其番號を軍用鳩調査委員に通報すること等の條件に

之を賣却　せざること、拂下は一人十羽以内といふのが主なる拂下條件であるが營利を目的とする營業者には拂ひ下ないといふ事だ

京城本町二丁目　野田時計鋪　電話八七四番

日報歌壇

ひれ伏して

□ 昭　穗（安東）

あはれ我此の磯砂にひれ伏して浪の音聞く幾日なるかも
投げやれど投ぐれど戻る木の片に淚を流す磯の夕ぐれ
幾千里さまよひ來たる浪の石に物云ふて見る淋しき心
眺めし旅の町々赤き灯流れ入る夜窓にしたりさみしらに
たまさかの明日は休み日夜更けまで本に親しむ心安けさ

□ よ　し　穗（筑紫）

おん寒悲は露と生れけむ君ならむ小さき花の其の葩は（小葩次に）

□ か　み（京城）

重々しく狂ほしき迄わが胸に若き日の行く悠充ちたり
心めく戀にも逢はで愚痴の十九の年の夏も過ぎにけり
幾日ならば冷たき柱抱なてはまぬ人を思ひ侘びけむ
さびしさに稼の柱に額つけてクラリチツト聞く夏の夜の月
忍びかに戀するものはいと重く罪せられむと云ふは誠か

□ 大東　麥路（京城）

淋しさにふと見返へれば街の灯は瞬きにつゝ夜の底にあぬ
山彦のわかする聲と變らねば物足らなく淋しむ心

□ 美　ゆ　め（京城）

けはひして夏の夕を君待つさまさぐりてゐぬ麻の葉の帶

□ 白　星　光（京城）

漁火の見えつ隱れつ沖遠み飽かず眺めし夜更けなるかも
さはに暗く海鳥見むとさしろ戸を繰れば沖つ邊漁火遠し
鳥羽玉の夜更け渚を行くなべに沖つ邊遥み漁火の見ゆ
はろ〳〵と君に離りて來つれども一日一夜も目を欲りにける
たづ〳〵し君し離りて海つべに立てば淚然と落つ

□ 國田　葛園（永登浦）

一人の男と生れ〳〵もすれば蟲を美む心かなしも
ゆくりなく雨過ぎし庭のしづもりに好まめ眞喫ひて見たるも
いん〳〵と鳴りの逝けき雷に夏の黄昏の日は照り止ます
たまさかに狹庭に降く雷の音讃みかも心は安し
汗かきし後の涼しさそゞろにも机の前に歌を作りけり

日報柳壇

劍花坊選

紙屑屋

紙屑屋風の神にも雛はれる　一笑
紙屑屋空巣狙ひと間違はれ　紫流
▲評　自然にして滑稽
十年の苦學を屑屋買つて行き　十の字
▲評　古川柳的技巧
呼こんだ屑屋下宿で知った顔　富三
▲評　一人は出世一人は零落
紙屑屋女と見れば踏倒し　同
正四位の門を平氣な紙屑屋　同
面白い文せ讀めぬ紙屑屋　紫流

夜店の領分

▲某終端町前の郵便所では所長が居ないからと云つて切手も葉書も賣つて呉れないで此の上の方へ行るから共所へ行つて買つて下さいと二回もやられた共れで郵便所の役目が濟んで居るのでせうか（ふられ生）▲私は毎日明治町通りを度々自轉車で通行する者です何とか云ふ商店の表に道路に半分程荷車を何時も出してある爲に其前を通行する時に通行人に衝突する事が間々有ります何とか方法はないものでせうか（迷惑生）▲今度仁川の運動谷が廢めらる、そうだが我々ファンは一刻も早く實行されんことを願ふのである今迄の樣なせまいグラウンドでは十分に運動することが出來なかつたがこれからは大いに走りまはつて思ふ樣に運動することが出來るだらう立てよ仁川のファン！目覺めよ仁川のファン！仁川の爲めに大いに氣を吐く可し（仁川の一ファン）▲色黒き光子樣に同情す旭町エエス生樣の傳授の法は大いに良法と思料す依て此の法を實行し更に小生從來工夫致し候をみて大いに好結果を得たる顔面用藥あり御希望なれば現品名及び其の使用法書狀にて御敎授申べく報酬は一文も要求せず（忠州收溪鈴木生）▲龍山九〇八番の御方へ思ふ方の爲とは云ふものゝ好く心配して上ますれ失禮ですが商賣人には貴女の樣な御方は稀です御言葉の通り女の一念岩をも透す私も同感です御折角に（一交換手）▲近年虎疫流行に付ては市民大に注意する處ならん處で各市内廢溝の中の腐敗物を恐れ氣も無く食し居る鮮人を日増しに多く實に遺憾に堪へざる次第何卒右腐敗物の中へ其掛て消毒液を散布すれば左樣の恐れは有るまいと存候何卒掛りの御意向を何度候（衛生長官）

預金部現計調

振替貯金三千三百萬圓、貯蓄債券八億八千八百萬圓を示し又[illegible]運用の部に於て國債證券二[illegible]九百萬圓、佛國大藏省證券一千[illegible]二百萬圓、[illegible]百萬圓增の三億五千萬圓合計[illegible]百萬圓增の八億八千八百[illegible]

佛國首相　來遊の噂

ソー氏が近く日本へ來遊するとの噂が傳はりつゝある—そ[illegible]今後は一意只戰後經營策として商工業の復興通商貿易の振展[illegible]した日本へ遊びたいとの意を[illegible]した由である

[illegible]油界の現狀

[illegible]

痛みを止め　膿を去り　尿を通ず

リン病　アラヒ藥

複方タルリン

本劑は如何なる重き痳病と雖も之を用ふれば直に其効現はれ又患者適宜に溶解し用ふるものなれば腐敗の處なく且携帶に便なり

ウサギ印　商標注意

價　二十五錢、五十錢　七十錢、壹圓

本舗　大阪市堂島元濱橋　高橋盛大堂本店
賣捌　同心齋橋筋博勞町　高橋盛大堂分店
同　東京市神田柳町　高橋盛大堂出張所
●到る處の藥店にて販賣す

男女　生殖器病　圖入り明細書無代進呈
りん病
◎藥で治らぬ男女生殖器發育不完全不能腎弱包莖子宮病こしけ等を頗る手輕に治す
專賣特許自宅各病自療法也
別府溫泉田の湯通　京城府大和町　名古屋花車町九　奉天富士町十一　東京京橋材木町　大阪北區北森町一
新療法研究所

人蔘ニ優ル強壯劑

本劑の服用に依りて貴下の精力は愈旺盛となり活動の能力は頓に增加すべし

全國一手販賣　京城日報代理部

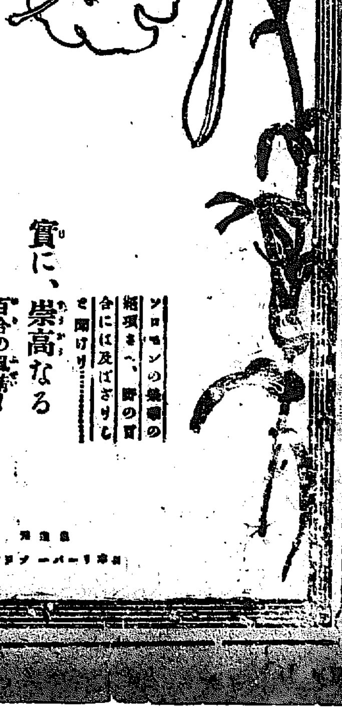
資本金　六百萬圓
積立金操越金　百貳拾五萬圓
株式會社　十八銀行京城支店　京城府黄金町二丁目　電話四一〇番　振替貯金口座京城八一四番
同　新龍山支店　京城府漢江通り拾參番地　電話五五五番　振替口座京城一八三番
同　龍山出張所　京城府元町二丁目　電話二八番
銀行一般ノ業務ハ精々確實ニ取扱可申又京城支店及龍山出張所ハ株式會社長崎貯蓄銀行ノ代理店取扱申候

イケダ小兒内科病院　京城三越吳服店前へ入る旭町四丁目　電話（病）一〇三四番（宅）二〇〇〇番

これでこそ！
夏が樂しう暮せます。
◇眞夏の暑さ。日には焦けますし、汗や塵でお肌は汚れます。こうしたら清爽とするだらうとは、何誰も御望みになる處でムいます。それには
◇皮膚の根底。から整へて美くしくする。クレームレートをお使ひになるに限ります。クレームレートは有脂のクリームのやうに決して脂な臭がせず
◇心持ちよう。お肌へ溶け込み、お顔を生々とする上に、日焦けを防ぎ、汗や塵汚れを美事に留めます。それで、クレームレートは附けた氣持の輕い事
◇商其の上に。粉白を化粧下として、これにレート粉白粉で粉刷きをすれば清洒な薄化粧が見るも涼しいやう美くしく出來上ります。
新美膚料　クレームレート
本舗　東京　大阪　平尾贊平商店

味噌の横綱　ほまれ味噌

ベルベット石鹸



ソロモンの榮華の極みも、野の百合には及ばざりしと聞けり……
實に、崇高なる百合の風情！
夫は……ベルベット石鹸愛用者の楚々たる容姿にも譬へんか！